京城日報
二十一日夕刊
定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 前金三ヶ月分一圓六拾錢 六ヶ月分三圓十錢 郵税共
廣告料 五號活字十八字詰一行金壹圓 二號活字…
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社京城日報社 京城太平通一丁目
電話番號 …

宣統帝容態小康

宣統帝は市街戰に驚き發熱し一時重態なりしが十九日來稍小康を得たり（北京特電）

曹錕氏に五百萬元

直隷督軍曹錕氏は部下を率ゐて保定に歸りたるが十八日北京商務總會に對し借款の要求を爲せるより商務總會は慰勞金として五百萬元を贈れり（北京特電）

公使團馮總統承認

各國公使は外交部を訪ひ馮大總統の就任を認め且つ汪外交總長の訪問に對し答禮せり（北京特電）

英内閣員一部更迭

サー、エドワード、カーゾン卿は軍事内閣員（無任所）に軍需大臣アヂソン氏は無任所大臣にモンテーグ氏は印度事務大臣にチャーチル氏は軍需大臣にエリックグーデス氏は海軍大臣に夫々任命されたり（倫敦電報）

露國過激派の騷擾

武力制裁を憤り＝示威運動の結果

政府が戰線に於ける叛亂聯隊を武力を以て解散せしめたるに對し過激派は十六日夜政府反對の示威運動を試み其結果は無謀にもネフスキープロスペクト街を射擊し大騷ぎを演じ死傷者十二名を出せり（露都電報）

露軍戰捷の反響

國民の敵愾心昂まる

本月一二兩日に亙れる露軍西南方面戰場たるガリシアに對する攻擊偉大の奏功を見たる結果露西亞國内各地に於て俄然一般國民に敵愾心を勃興せしめ内地屯在部隊中戰線出征を志願するもの續々頻出すると同時に戰爭中止を唱導し來れる過激派又はニーン一派に對する反感猝かに高潮し彼等は一時其鋭鋒を避けざるを得ざるの現象を呈出したり因に最近西方面軍（西南方面に隣接せる軍にして露軍の中堅也）正面（ビリスク）方面に於ても亦激烈なる戰鬪開始せられたるもの丶如く或は該方面の軍も非常の決心を以て攻擊移轉の壯擧に出で乾坤一擲の大會戰を試みんとするには非らざる乎（露都發某所著電）

獨議會に講和提案

議會の多數黨より＝提案の内容

米國國務省に達せる情報によれば獨逸議會に於ける多數派は議會に對し講和案を提出せり提案の内容は各交戰國の商議により此際講和をなし各國永遠の和協を圖るべきを主張したるものなりと（華盛頓電報）

駐日米國大使後任

華盛頓政府は日本政府の承認を得ば曩に物故せるガスリー氏の後任としてローランドモリス氏を駐日大使に任命すべしと（華盛頓電報）

戸倉章三郎氏

奈良縣林業界の巨頭戸倉章三郎氏は廿日死亡せり（大阪特電）

總督邸晩餐會

山縣政務總監は既記の如く二十一日午後七時より入京中なる各道第一部長を總督官邸に招待晩餐會を開く總督府側よりは各部長官局長所屬官署の長並に第一部長會同關係各部局課の高等官武官等臨席す

第一部長會同（第四日）

第一部長會同第四日は二十一日午前八時三十分より總督府第二會議室に開催出席者前日の如く宇佐美内務部長官統裁の下に直ちに日程に入り事務の打合せありて正午散會之れにて本會同を終了せり

朝鮮在籍船舶

遞信局調査に依れば本年六月末に於ける朝鮮在籍船舶は汽船二十噸以上のもの合計七十九隻にして千噸以上のもの十隻あり總噸數四萬二千三百五十九噸あり又帆船は二十噸以上のもの二百六十一隻七千五百二十噸也

棉實收高

大正五年の棉作は南鮮地方に於ては天候不良の爲め陸地棉、在來棉共に其の作柄良好ならざりしも西鮮地方に於ては天候順調を得在來棉の生育は良好なるを得たり、今其の收穫高を見るに陸地棉に在りては作柄不良なりしにも拘らず作付反別增加の結果實棉三千百三十三萬千四百十四斤にして之を前年に比すれば九分三厘の增加を示し在來棉に在りては南鮮地方に於ける陸地棉栽培獎勵に伴ふ作付反別減少のため實棉一千四百萬四千九十一斤にして前年に比し一割六分三厘を減少せり、今既往三箇年間に於ける棉作反別並に實收高を掲記せば左の如し

棉作付反別累年表

年次	陸地棉（町）	在來棉（町）	合計（町）
大正三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

綿實收高累年表

年次	陸地棉（斤）	在來棉（斤）	合計（斤）
大正三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正五年	三一、三三一、四一四	一四、〇〇四、〇九一	四五、三三五、五〇五

本年上半朝鮮貿易

貿易總額八千五百五十一萬五千八百九圓 輸移出四千五十六萬餘圓輸移入四千四百九十五萬餘圓＝貨物は激增し地金銀は減退す

貿易の趨勢

本年上半期の朝鮮貿易は地金銀に於て不振を呈したるも貨物に於ては出入共著しき盛況を示せり、即ち

▲貨物貿易 貨物に在りては輸移出三千五百七十九萬九千六百九十四圓輸移入四千四百八十萬七千百三十三圓にして前年同期に比し輸移出一千二百七十萬七千九百四十二圓（五割一分）輸移入一千三百十五萬五千八百七十八圓（四割二分）の孰れも激增を示し

▲地金銀 地金銀に在りては輸移出四百七十六萬三千四百六十九圓輸移入十萬七千五百十三圓にして前年同期に比し輸移出百九十六萬二千九百八十六圓（二割九分）輸移入四千七百四十二圓（四分）を孰れも減退し

▲總計貿易 以上貨物及び地金銀を合せる總貿易額は輸移出四千五十六萬一千百六十三圓輸移入四千四百九十一萬四千六百四十六圓にして之を前年同期に比すれば輸移出一千十一萬四千九百五十七圓（三割三分）輸移入一千三百十五萬一千百三十六圓（四割一分）の增進なりとす

出入の狀況

次に本年出入貿易の差額を檢するに貨物に於ては入超九百四萬九千餘圓を算せるも一方地金銀に於ては四百六十五萬五千餘圓の出超なるを以て結局四百三十九萬三千餘圓の輸移入超過にして之を前年同期に比すれば三百餘萬圓の入超增加を來せり

▲貨物貿易 叙上の如く本年上半期の貨物貿易は出入共著しき增進を示せり、蓋し朝鮮に於ける一般生産物殊に鑛産物の增加、昨年の豐作穀價騰貴、好景氣、之に伴ふ鮮人購買力の增加、製鐵所其の他起業材料の入荷、引き續き多數なること、綿糸、布類を主とし一般物價の奔騰に由り思惑取引旺盛なりしこと等孰れも有力なる原因なりと雖も最主要の關係を有するものは物價の暴騰に伴ひ輸移出入品價額の膨大せることなり、今試みに本年一月以降五箇月間の平均物價を前年同期に比較するに朝鮮産品に於て二割八分、輸移入品に於て二割五分の騰貴を示せり

▲出入金銀 次に地金銀貿易は輸移入に在りては昨今兩年略ぼ同額を示せるも輸移出に二割九分餘の減退を示したるは頗る從來の趨勢に反する所なるが之れ本年に入り年初寒氣酷烈なりしこと、春來旱魃甚だしかりしこと等は精錬作業上支障大なりしと藥品の暴騰は事業を困難ならしめたるに當り近來黑鉛鑛業甚だしき盛況を呈せるより此の方面に轉業せしもの尠なからざる等小規模の産金減退せしに由るものにして畢竟一時的の現象に過ぎざるもの也

出入重要品

▲輸移出品 本年上半期輸移出貿易の内容を觀察するに鑛産生粗品並に主として時局關係品たる牛皮及び皮革製品に於ては前年に比し減退を示せるも農産物、水産物、工産物に在りては前年に比し孰れも著しき增進を告げたり今重要貨物中增減の顯著なる物品を掲記せば增加したるものに在りては

品名	增加額
米	四百四十八萬二千圓
大豆	二百五十六萬六千圓
銅（塊及錠）	百十七萬四千圓
含金銀粗銅	九十二萬七千圓
繰綿	七十九萬七千圓
紅參	三十六萬三千圓
魚肥（乾魚及魚粕）	二十二萬六千圓
紙卷煙草	二十一萬圓
小麥	十九萬三千圓
繭	十七萬二千圓
玉蜀黍	十六萬八千圓
乾貝	十五萬圓
生牛	十四萬九千圓
小豆	十四萬八千圓
金鑛	十四萬圓
鮮魚	十三萬一千圓
鹽魚	十三萬一千圓
鮮肉	十三萬一千圓
乾魚	十一萬二千圓

等にして減退せるもの丶内減額十萬圓以上のものは

品名	減額
牛皮	八十三萬圓
法瑯鐵器	四十四萬圓
皮革製品	三十四萬二千圓

の三品のみにして減額十萬圓以下のものに在りても棉糸、海苔、鐵鑛、重石鑛、石炭、石花菜、硫酸安母尼亞の七品を數ふるに過ぎず

▲輸移入品 本年上半期に於ける輸移入重要品の貿易額を前年同期に比較するに生皮、熟皮、絹織物、マッチに著しき減退を見たる外各品概ね增進を示せり、今前年に比し增減の著しきものを掲記すれば增加したるものに於ては

品名	增加額
機械類	百十萬六千圓
綿織糸	八十萬六千圓
粟	十九萬六千圓
石油	七十六萬二千圓
支那麻布	七十六萬一千圓
生金巾類	六十七萬一千圓
米	四十萬二千圓
石炭	三十九萬四千圓
煉瓦	三十一萬一千圓
鐵（條竿及板）	二十四萬九千圓
白木綿	二十四萬八千圓
鋼鐵	二十三萬七千圓
セメント	二十三萬四千圓
鐵道機關車	二十一萬八千圓
橋梁材料	二十萬六千圓
ダイナマイト	十八萬七千圓
ガンニー袋	十七萬六千圓
洋紙	十四萬八千圓
鋼（條竿及板）	十四萬七千圓
鐵（管及管）	十三萬七千圓
色木綿	十三萬七千圓
汽船及帆船	十一萬二千圓
漁網	十一萬四千圓
木材及板（鐵道枕木を除く）	十萬一千圓

（以上增額十萬圓以上を掲ぐ）

次に減退したるものに在りて同じく減額十萬圓以上のものは

品名	減額
生皮及熟皮	七十一萬九千圓
絹、綿帛	二十三萬八千圓
マッチ	十一萬圓

の三品に過ぎず

東拓新方針の決定

本社の東京移置と事業範圍の擴大

石塚總裁松平理事車中談

二十日夜久方振りに歸任せし石塚東拓總裁松平理事の一行を烏山に迎ふ車中の苦熱甚し總裁は頭に降りかゝつた煤煙を手巾でゴシ〱拭き乍ら語る

▲會社の改正法案 も好い具合に議會を通過して十月一日より實施の事となつた、然し之れは入口の一關門を漸くとつただけで、之れからまだ〱困難な面倒な關門がいくつも〱あるのである、此の前途の多くの難關をいかにして過ぎ行くかが吾々には仲々容易ならぬ問題であつて、會社改正法案の通過と云ふ一の玄關を通つた事を祝つたり、目出度がつたりしてはゐられない、今度歸京したら第一に定款の改正、第二に漸を逐つて着手すべき事業の計畫段取りを重役會議で決定せねばならぬ、そして吾輩は改正定款を附議すべく臨時總會を開くため八月下旬に東上する積りである

▲東京へ本社移置 かね、十月一日より本社の看板を東京に掲げねばならぬ事となつた、之れは會社の營業範圍が非常に擴まつた結果中央政府との交渉案件が滋くなり、其の一般的監督を受くる事となりし結果で、當分は本社の在勤社員も少ないし組織も大きくない、どうしても東拓の事業本體は朝鮮にあるから其の機關の主力は矢張り朝鮮に置かなければならぬ、從つて京城の現本社は京城支店となる譯だが、社員は事實上減らせぬのである、唯將來東拓の事業が各方面に根を張り行き東京中心で仕事をせねばならぬ時が來れば怎う云ふ風に變るか豫言も仕兼ねるが少くも當分京城の店は實體に於ては變りはない、吾輩は議會の關係もあるし、東京と京城と半々位に居るやうにならう、又更らに時々滿蒙方面へも足を向けねばならね、理事の任地は之れから相談の上極めるのでまだ決定した事はない

▲事業範圍の擴大 改正になつた東拓法は色々傳へられるやうに事業經營の範圍及び能力を著しく擴大されたから、今後鮮滿に於ける各種の拓殖事業並に不動産金融には最善の努力を盡して行く考へである、滿洲に於ける機關、先づ奉天の支店は會社法が示してゐるやうに設置の必要あり、大連も無論あるだらう、更に又奉天以北にも所はドコとは云へぬが一分店を置かねばなるまいと考へる、南洋や南米は少なくも當分の間會社で直接手を出し事業の經營を試むるやうな事はない、然し移民會社や拓殖的の會社若くば確實な個人に對し資金の融通をなし、又場合により事業によつては設立さる丶新會社の株を引受け若くば株を引受けて會社の組織を促し姉妹會社を組織する等の事はあるであらう

▲都督は何人 問題の滿鮮統一も愈々八月一日から實施するらしい右の内喧しかつたのは都督の滿鐵總裁兼任だけで兩鐵道併合經營の如きは殆んど異論を聞かなかつた、然し都督の總裁兼務も京城日報の電報を見ると、都督は滿鐵の事務を統裁すると云ふ形式で政府と樞密院の意見が一致したらしい、唯都督を如何にするか、中村現都督は聊さか健康も損じてゐるし、退任さるゝとして何人が其跡に據る、中村滿鐵總裁は人物より云へば最適任である、殊に滿鐵が製鐵事業を初めた今日、斯業に造詣深き總裁は、實に失くてならぬ人である、唯後備中將たる總裁の都督就任は現役大中將と限つた現行官制が許さない、故佐久間臺灣總督は特旨により其の退役期限を延ばされたが、中村總裁の如き後備を現役に引直されると云ふ事は殆んど前例がない、前例がなくても新例を開くのであるがさりとて都督任用の官制改正と云ふ譯には色々の關係上行くまいし、果して怎うなるか、本郷第□師團長が新に都督に就任するだらうとの噂も聞いた、これも一說であらう

▲松平子爵 は曰く、會社の改正法案が衆議院から貴族院に廻附して來た時は、餘日があと二日しかなかつた其二日で外に色々の議案もあつたのだが、上院を通過さす事の出來たのは政府及び吾々が微力を盡したためでなく、全く時勢が其の必要を認めたのであらう、上院の如きは殆んど全會一致でパッスした、素より、此の狀勢を目前に見た吾々の氣持ちの惡からう筈はない、社はホンの當分の意味で丸の内内幸町に借りる事にした、三菱の貸事務所などは財界發展の今日到底空きがない、會社も今大に事業を擴張するので、頗る忙がしくなる譯だ、大體の新らしい計畫は九月の臨時總會前に決定する筈である

東拓社員歸京

東上中なりし堀江東拓庶務課長吉田同參事神長書記の三氏は二十日夜歸京せり

村瀨囑託の來任

鐵道院囑託にして内國通運株式會社取締役の村瀨鎌次郎氏は二十一日午前九時南大門驛著列車にて入京旭町三丁目菅谷内通支店長宅に滯在中なり同氏は任務上向後鮮滿に駐在する事に内定し居る由

委員會と本會議

既報の如く二十日開會せる京城學校組合會議に於て委員附託となりたる議案第一號組合費減免に關する件は二十一日府廳内に委員會を開きたるが委員會に於て本件に對する調査審議を了せば兩三日中學校組合本會議を開催すべき豫定なりと

朝郵買船計畫

朝鮮郵船會社に於て航路の發展擴張をなすため船舶買收の計畫ある事は既記の如きが略其の候補船を發見せしもの丶如く數日前吉田專務は海運界視察として東上中なり

朝郵平安丸來航

二十日川崎造船所より朝鮮郵船會社の手に受授を了せる平安丸は二十一日午前十時神戸出帆釜山に向ひたるが廿三日朝釜山入港同夜發浦港に直航すべし

兩地の土用入

▲釜山 釜山に於ける二十日土用入の天候は北東の微風にて天氣快晴なり低氣壓は蒙古及び楊子江方面に發生したるも著しからず正午氣温は八十一度五分を示し既に雨季を經過せり（釜山）

▲鳥致院 二十日の土用入は朝來空晴れ東風穩弱午後三時の氣温九十四度を示したるが引き續き相當の照り込みあらば豐作なるべしと農民は目下除草に餘念なし（鳥致院）

經理部長來群

朝鮮駐箚軍經理部長廣瀨主計監は群山港灣調査を兼ね視察の爲め二十一日來群翌廿二日全州に向け出發する豫定なるが群山港灣調査會は廣瀨主計監の來群を好機とし港灣に關する調査事項を提供し意見を開陳する筈なり（群山）

近野少將動靜

二十日入京せる近野工兵監は同夜大觀亭に宿泊二十一日午前八時三十分總督官邸を訪ひ夫れより總督府に山縣政務總監髙橋武官等を訪問敬意を表せる後更に憲兵隊司令部、景福宮軍司令部並に師團司令部を歷訪し午後零時半軍司令官邸に於ける午餐會に臨み午後は昌德宮其の他市内を見物せり氏は同日午後七時五十分南大門驛發汽車にて内地に向け出發す

北米より

丹羽生

拜啓 同行者日本鐵道青年會谷富理事の都合と豫て沿岸同胞の狀態視察の爲めにシャトル、ポルトランド、桑港、リービングストン、フレスノ、ロスアンゼス等を巡歷し愈々東行の途に就き昨日當地に參り今夕デンバーに向ひ出發の都合に有之候 同胞の經濟的、知識的、德義的狀態は餘程進步致候には欣慶に存じ此有樣を尚增長進捗せしめば日米問題は追々解決可致と存候（二日） ソルトレーキにて

中村檢事長消息

過般歐米視察の途に上りし京城覆審法院長中村竹藏氏は六月二十四日米國華盛頓府に著せる旨當地某友人の許に通知ありたり

木原部長來京

浦鹽松田銀行部々長木原小平氏は鮮銀と爲替禁止前後策に關する協議をなす爲廿一日午後五時十分落列車にて入京せり

東拓重役會議

東拓會社にては石塚總裁松平理事歸京せしを以て二十一日午前十一時より總裁三理事秘書役參集會社改正法案通過後第一次の重役會議を樓上に開き社務進展に關する協議をなせり

人事消息

▲田村英太郎氏（久原鑛業技師） 和田病院に入院中の處數日内全治退院の筈
▲大塚兼氏（滿鐵建築部長） 二十一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲木原小平氏（浦鹽松田銀行部長） 二十一日入京不知火へ
▲岡田虎輔（總督府技師） 二十日夜歸京
▲安宅三次氏（大阪商船會社員） 二十一日朝入京尾張旅館へ
▲跡見弘氏（橫濱原輸田部員） 同上
▲長野虎太郎氏（本龍新報主筆） 十八日夜入京初音町元川氏宅へ
▲設田策次郎（慶尚南道長第二十五聯隊長） 檢閲の爲め此程入京設田通譯官邸に滯在中なり

□大塊翁近什 立花將軍祖先の墓に過ぎて
松風や五尺の土標夏寒し

時事吟
汗たれて稼ぐも步婆の勸め哉

汽車時間表（南行）（北行） [illegible]

♣海雲臺から東萊へ
海と山と温泉に(三)
□□朝の海碧に澄みて□□ □□遠方に浮むは對馬□□

海の女神の賜はつた海雲臺の温泉は世にも稀れなる靈泉であつたが其の後永い間、濱の人達が温泉を埋めて入浴に來る者に温泉の在所を知らせなかつた、濱の人達がそんな意地の惡い事を爲るやうに成つたに就いては、もいろ〳〵の傳説がある、……湯の湧く口から

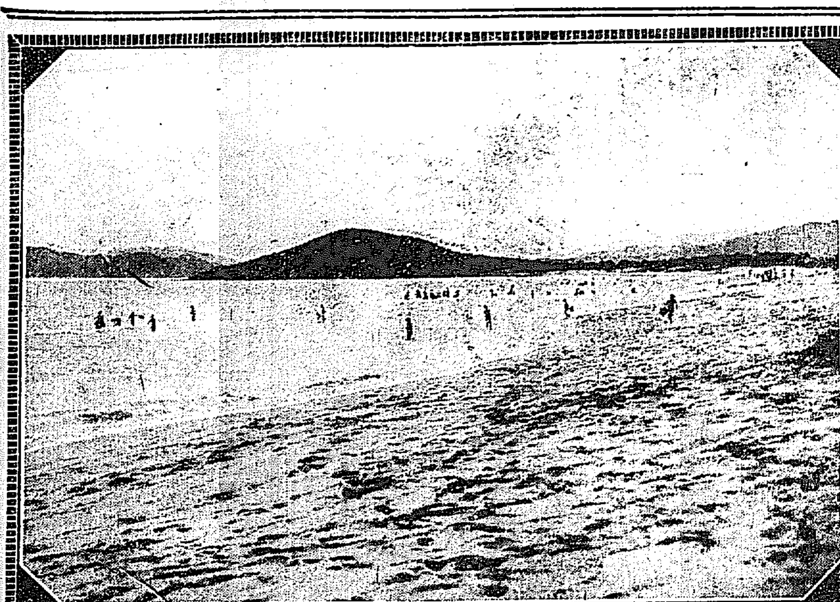
◇◇◇月夜の晩には何時も白馬金鞍の貴公子が湯壺より一緒に朦朧と生れて濱の砂路や波打際を逍遙ひながら哀れに美しい唄を謠ひ玉ふが其の歌の聲を聞くと人妻も娘も氣がフラ〳〵として何處とも知らず迷ひ出して二度と再び踞つて來ない濱の人達が怖れてこれは何んでも其貴公子の出て來る湯の口を塞いで終ふに限ると申合せて温泉を埋めて終つた……一體温泉場は何處でも貴族や富豪などが集つて來るものだそれ等の人達は風俗を紊す事を其の全生活と心得て居るから仕やうが無いそれで

◇◇◇永い間海雲臺温泉は石や砂に埋められて居つたが十年ばかり前に内田良平氏が古い記録に由つて往昔靈湯が在つた事を確め今の岩永氏が其の遊を發掘すると果して數百年間地中に埋沒して居つた温泉は沸然として湧出した取敢ず現今の浴場を設けたが山海の風光と相俟つて將來の大發展を期し大浴場の建築中で本年の八月一杯には竣工する事に成つて居る新築の大浴場は三百年ばかりあつて一般浴場沙浴場貸切浴場等の設備もある朝から浴場の石の上に坐つて温泉の講釋ばかり爲ても居られぬので私は浴室を出て、今釣り上げたばかりだと云ふ大きな鯛の作りで朝食を濟し、海雲樓の裏口からすぐ濱邊にと出た

◇◇◇松の深林と並行して長く白い砂濱が遠く連なつて渚に寄せる白波が碎けては退き盛り返しては、打ち寄せる波の退いた跡には紅皿を見るやうな鮮やかに赤い貝や白玉のやうに綺麗に磨かれた貝が散らばつてゐて拾へば其の種類の幾十といふ數を知らぬ涼しい風が波のまに〳〵流れて來る日はよく晴れて瑠璃色の海の奥に濃い紫の浮んで見ゆるは對馬である著衣を脱いで其の邊の船緣に置いて私は海に這入つた

◇◇◇清い波が心地よく膝の邊に碎け散つて三尺ばかりの深さまでは底の小砂の粒まで見ゆ鰯やアブラメなどの子が泳いで居るのも見ゆる泳ぎの下手な私は大事を取つて急に深みに陷ちぬやうに捜り足で進んで行くと滑かに堅いものが爪先きに當つた磨かれた玉石かと思つて拾つて見ると其れは珍らしく大きな蛤であつた續いて其の邊を足で探くと貝はいくらでも出て來る、沖の方へ二丁位歩いて行くと海の深さは胸の邊まである渚さ

◇◇◇鷗や鷗に似た海鳥が翼を翻して飛び來つて戻つて波がおだやかで は踊つてゆく海の水は温かく海面を吹く風は冷やかに目に入るものは綠の海と碧の空と眞白い帆ばかりだ海に浸りながら京城の家に居る暑を想像して見たがどうしても此夏が暑いとは思はれないやつぱり喉元が冷たいからであらう(海雲臺にて 勝村生)



海雲臺の海水浴場

御名代宮御參陵
明治天皇五年祭

卅日は明治天皇五年祭に就き閑院宮殿下は　天皇陛下御名代北白川宮妃房子内親王殿下は皇后陛下御名代として御參陵五年祭を行はる可し(京都特電)

●信管大爆發
死傷者約十名

十九日午後五時呉海軍工廠運輸部職工數名は倉橋島大砲發射所より持歸りし十四時信管を陸揚中過ちて地上に落し大爆發し死者三名重輕傷者數名を出せり(大阪特電)

●市會議員 死刑宣告を受く

元名古屋市會議員種村兼道(四三)は女房を殺害せし罪にて二十日死刑の宣告を受けたり(大阪特電)

●全國各停車場の 辨當値上決議

全國各驛の辨當業者は辨當二割方値上の決議を爲し之れを鐵道院に提出せり(大阪特電)

●仁川へ 凉しい潮風を慕うて
回月尾島に海水浴場が出來る回

出來る出來るでつひ延び〳〵になつた仁川の海水浴場も廿日の協議會で愈々月尾島の北端元の海水浴場たりし海岸に設ける事となつた、當日出席者は奥田商議會頭、楠野府尹を始め商業會議所議員其他仁川の有志新聞記者等約廿名奥田氏會長となつて

◇種々協議 した結果結局該所は防波堤の竣成と共に漢江流域より流下する土砂に依つて自然の海水浴場地を形成す可く豫想さるゝ而已ならず、他に適當の候補地無ければ該所に選定しては奈何と言ふ加來氏の意見を滿場一致で採用して設備其他寄附金募集等は奥田貞次郎、稻田勝彦、淺松太郎、朝新、京日兩新聞社の

◇五委員に 一任する事として五時散會し引續き委員の相談會をなしたる結果仁川經濟會の名を以て設備及び維持經營する事に決し寄附金募集は二十一日より著手し此れと共に委員は實地踏査の上諸般の準備をなす事となつた

▲眺望絶佳の地 仁川停車場前の棧橋から通航に乘つて碧い海をこぎ行けば凉しい海風がそよ〳〵と身に沁みて、疲れた身も心も

◇水晶の雫 を呑んだ樣に清々しくなる、舟が對岸の岩と岩との間にこぎ入つて靜かに艫を著けて居る、磯に添うて小半町も歩めば彎曲した眞砂の濱に出る、其處が今度選定された海水浴場地である、見渡せば濃綠に蔽はれた仁川の

◇町と山の 間から、さびた支那町や、白い洋館が隱見する、渺々たる猫島の濱、遠き島々を環る漢江の流れ、波濤の起伏の如き永宗、苧藥江華の諸島なんど雄大な眺めをなして居るのもみな繪の樣である、滿潮時の濱は遠淺で波は靜かに砂地を洗つては大きな圓を描いて膨れ上るのであるから小供と雖も潮に戯れ貝を漁る事が出來

◇干潮の際 は波を追うて釣を垂れ或は潮流に乘つて猫島及び對岸に遠泳を試みる事も出來て、他の海水浴場に於て味はれぬ一種特有の興味を味ひつゝ清遊を恣にする事が出來るのである

▲海水浴場設備 設備としては前記の如く二十一日實地調査の上遲く共數日中には竣功せしむる意氣込みであるが何分本年は時期を失し且つ明後年に於ける防波堤完成の曉は如何なる方面に好適地生ずるや豫め測り知り得ざる爲に只應急策として簡單に脱衣場、浴槽、便所、飛臺、東屋、警戒線、救助舟、浮標等を設備する目論見である、併し出來得る丈け危險防止の手段を講ずるは勿論場内には貴品預、海水浴著の貸附飲食物の販賣等遺憾無きを期す筈で月尾島渡船料の如きも委員の意嚮では往復二錢位の最低廉とし

◇入場料は 五錢位を徵收する事となるから浴客に取つては至極安價の負擔であらうと思ふ、尙干潮の際も水泳の出來得る樣浚渫工事をなし京城方面の浴客の便宜を計る爲めに鐵道乘車賃の割引を請願する筈である(仁川)

●列車より飛ぶ
重傷を負ふて人事不省

二十日午後四時五分大邱驛に著すべき南行列車が大邱驛を距る北方數丁の踏切に差かゝるや突如三等客の一鮮人が列車より飛び降り人事不省に陷りたるが此の報に接し大邱驛員及び警察官は直ちに現場に馳せ付け應急手當を施して蘇生せしめ大邱慈惠醫院に擔ぎ込み療養中なり、該鮮人は住所不詳千一元(四八)といひ金泉より新洞までの乘車券を所持し居り車中にて睡眠中新洞を通り過ぎ眼を醒し見れば大邱驛に近けるに狼狽へて斯くは列車より飛び降りたるものゝ如く右肩部に重傷を負ひ居りと

●大連丸坐礁 津輕海峽にて

大連岸本商會の大連丸(四千五百八十二噸)は十九日より青森縣龍飛岬にて濃霧の爲め坐礁せり米國より浦鹽に向ふ途中なり(函館特電)

●兵庫縣下に 眞正虎列拉

兵庫縣神崎郡豐田村に眞正虎列拉患者一名發生せり(大阪特電)

土用の丑の日 ―鰻―

二十二日は土用の丑の日土用の丑の日に鰻を食べる謂に就て是れまで方々の新聞や雜誌に色々の事が出てゐるが、何れも是れも皆諸日半分な所謂る古老の傳説なるものゝ紹介するに過ぎぬのであるから今日は一つ月並を外れた所で『土用鰻』なるものゝ講釋をして見よう。傳說によると昔し江戸で蜀山人が神田川といふ當時有名な鰻屋の哀願を容れて『明日土用丑の日』といふ看板を揭げた所が

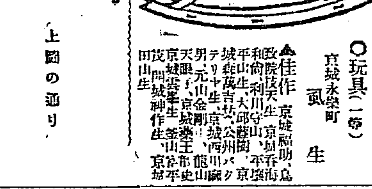
忽ち大江戸八百八町の評判になつて 何の事だか譯が判らない乍ら、我も彼もと神田川へ來て鰻を食べたり、又は山の手くんだりから其の頃で電車もないから遙々一日掛りで神田川へ鰻の蒲焼を買ひに來た者もあつたりしたので、斯れが例になつて土用の丑の日には、何處の鰻屋でも神田川の似をして丑の日といふ看板を出す樣になつたといふ。又た一說には是も江戸の狩木さいふ鰻屋で、土用の丑の日に鰻を壺に入れて土の中に埋めて置いたところが十餘日經つても生きてゐたからだとも云ひ。更に丑寅の生れの人は虛空藏菩薩の祟りを受け又た酉乘り杯で金比羅大明神を信心する者は鰻を食ふと罰が當るのであるが、土用の丑の日に限つて差支へないと云ひ、若は是も江戸の或る鰻屋の

注文外れで深山の鰻を殺して持餘してゐたの其の處置に困つたから、或る醫者の入智恵で『今日丑の日』と書いた看板を出したので瞬く間に皆んな賣盡したといふ杯、中には田圃目の鰻八百を並べて萬年肝を氣取つてゐる御隠居さんもある。併し蜀山人に關する說は、或程太田先生の遣りさうな事であるが、徳川家中世の名裁判が何れも大岡越州の裁いたことになつてゐる例もあるから、必ずしも蜀山人說が本當とは斷言し難い、尤も蜀山人著『南畝莠言』に『世俗に、山椒をそへて食ふ事、服類本草に云く、鰻魚一頭に食當心鍋に五痔瘡瘻殺蟲を主とる、食法は切て片と作し、炙て[illegible]』とあるから或は太田南畝先生が造り出したのかも知れない

併し鰻なるものは朝鮮人も昔は好きだが今は支那人は之を食はず、中華には『日本にては之を食ふ』とある通り『日本に之ありとあつて支那人は一切食べない。要するに土用に鰻を食べることを勸めたのは、或は蜀山人かも知れないが『本朝食鑑』に『夏やせに良し』とあつて、夏やせによしと申すで、なきとりめせ夏やせは病土に注射病さいふは一向喜悦の事なり。又注夏病の食料にも然るべきなり、むなぎは唐にいふ鰻と云ふうなぎにして(下略)とあり、又た『藥石十種』に『人家常に鰻鱺を焼けば諸虫を避く、鰻鱺店に蚊なきはこの故也』ある通り、或は醫者が鰻の冷用を說いたのかも知れない。因みにズット昔の蒲焼は鰻を『筒切りにして串にさして焼く形が蒲穂に似たる故也』とあつて、今日の蒲焼の焼き方は享保頃から段々變つたのであらうと或る老人は記者に話した。

讀者文藝 (一席 名稱 丸々あまり)

▽箱めね



(上圖の通り)

○玩具(一等) 京城永樂町 風生

▲佳作 京城福助、鳥致院汝天生、京城呑海、和向利川守山、平壤大邱生、京城李京城、平壤男元山金剛生、京城西川風、天眼子、京城藥王、龍山京城雲峯生、京城平史、田山生、京城神作生、釜山生、京城平

●壽座の女優劇 新劇女優團

山村都紀子一行は二十日午後九時南大門驛著乘込み停車場には櫻ビール社員及び京城三券藝妓四十餘名其他多數の出迎あり一行は一先づ壽座に乘込み同夜松翠樓に於て重なる人々と顔繫ぎの宴を張り廿一日より開演初日は『茶を作る家』西洋家庭劇『嵐の夜』オペラ『おでくさん』喜劇芝居道樂等を演ずる筈

●强盜犯人處刑

忠南牙山郡[illegible]面新中里生れ李[illegible]……山中にて突然同人を捕へ金二千圓を强要し肯ぜざれば殺害すべしと脅迫せしめ……を脅迫中逮捕されたるものにて三名は此程京城地方法院の公判に附せられ……明龍は各懲役十年……

【懸賞】課題及募集規定

▲募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は住所氏名明記の事

商況

公債直取引(東京特電)

二十日引後値 五分利特別 九五、八〇 / 四分利公債 九五、六〇

深川在米特電

二十日現在高 鮮米 五〇、七八二 / 内地米 三一、九六三 / 外國米 一、六八六、四四七

東京期米特電

二十日前場	八月限
寄付	二三、五九
前值	二三、五九
高值	二三、四一
止め	二三、四四

大阪株式

銘柄	拂込額	二十日 前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	—	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	一三九、〇〇	—
東洋紡績	五〇、〇〇	—	—
合同紡績	五〇、〇〇	一〇三、二〇	—
鐘淵紡績	五〇、〇〇	—	—
河上籾株	五〇、〇〇	一二〇、三〇	—
東洋精糖	五〇、〇〇	一八〇、二〇	—
大阪商船	五〇、〇〇	一一七、二〇	—
日本郵船	五〇、〇〇	一三九、一〇	—
同上新株	五〇、〇〇	一〇三、一〇	—
堂島米穀	五〇、〇〇	一三三、二〇	—
東京新株	五〇、〇〇	一八九、九〇	—
大阪株式	五〇、〇〇	一三九、〇〇	—

大阪期米特電

二十一日前場 當限 先限 中限 寄付 二三、六〇 二三、七〇 二三、九七

下關期米特電

二十日前場 寄付 二三、三五 二三、一元 / 安値 二三、二〇 / 止め 二三、二五

雜報

●綿糸布大奔騰(大阪) 綿糸布相場は今前場更に一段奔騰し綿糸當月物四百七十圓綿布は三銘一三物にて十二圓七十錢の入電にて三品其他前場よりは何れも大突飛を演じ綿糸五百圓の實現も案外早きか如し

●黒鉛の活躍 近來黒鉛は成行き…漢江流域を始め西鮮北鮮各地に於ける採掘增加しつゝあり取引高詳ならざるも昨年秋季に鱗狀黒鉛一ヶ月三百五十噸を産せし後本年春迄は著しく減少せるに比べて昨今四百噸以上に激增し…鮮内産に對する所要額は四百噸以上に達し…世界總産額の一割强を占む…

●内地消費の途拓かる 出來引合となり市價低落沈滯しつゝありし際内地消費の途拓かれ漸く活況を呈しつゝある矢先にて目下各驛渡し値段五十圓より五十五圓迄準は六十パーセント最上品は九十五に達し何れも競爭買ひの結果相場騰貴しつゝあり鑑定價格三百五十圓迄なりと

●製靴露輸出好況 露國軍靴注文絶望の結果は本邦關係當業者に大打擊を與へ延いては一般皮革類にも惡影響を及ぼさん傾向なりしが最近測らずも之に代れる斯界の福音を齎らすに到れりそは露國民間用靴の大缺乏にして近來著しく材料騰貴し濶渇を訴へ居れる上革の如き偶々手廻り來る物は多く軍需品として徵發せらるゝ事となり首都初めモスコー其他の都會に於ける需要者は殆ど之が製造を爲す事能はず今や有力製造業者の途さへ絶ゆるに至り朝鮮各地に向つて何因より製靴の注文頻々入込み何は兎もあれ只靴の形をなせば取合勝の態にて…

大 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長九〇五 八三二番

●粗布更に新高値 上げ又々十圓方の値 大阪綿糸布相場連日の昂騰に連れ當市中又頻々値上げ行はれ十九日一躍二十圓高の三百圓…一段高模樣を報じ…四十五圓方奔騰…

●鐵板昂騰す 大阪より…百貫に付六十圓…三十九圓…

●輕油値上げ 又二十錢上げ 輕油は…今回ライジングサン印十五錢方の値上げありしが…市中建値を四圓四十四錢となれり

●雜紗愈强硬 去月來天井知らず…

●在荷不足こ原料高 …

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 主任 西川平治郎 電話一五八番 長一五九番 自宅 電話七二〇番

絹糸高や生糸の…

●奔騰何れも此强氣を激成 …大勢を動かすに足らず…

南大門の廻穀

銘柄	數量	銘柄	數量
平澤白米	三九叺	平澤	三九叺
中和粿麥	三〇叺	黒糯粿麥	三〇叺
沙里院白米	六叺	中和粿麥	二九叺
東張部白米	二七叺	黄海白米	一四〇叺
仁川粟	一〇叺	新義州粗麥	二七叺
新義州粗麥	二七叺	平澤白米	三二叺
仁川玄米	三九叺	鳥山內米	二七叺
鳥山玄米	三六叺	平澤白米	一三〇叺
鳥致院白米	五五叺		一二〇叺

釜山穀物(十九日)

…

大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電三〇九長九二

生魚市場

なほ入荷少し値引き立ち珍らしき品あり京城魚市場建値左の如し タイ二〇、同仁川鯛二二、メシロ一二、ヤス一三、クルマエビ六五、アワビ二四、シビ三八、メヘル一八、ハモ二二、スズキ三二、ニベ一〇、アジ一六、アユ八〇、スーラ一三、キスコ三〇

○釜山水產市場(二十日) 暑氣に向ひし爲め至海より入船なく附近の漁船入市せるのみ 入船數 百五十二隻 △タイ十四圓△小フカ二圓五十錢△アワビ十六圓△ヒラメ七圓△エビ二十五圓△タコ五圓△ブチ四圓五十錢△アツオ五圓△ツナギ八圓△雜魚六圓 水揚高八百七十六圓八十二錢

仁川期米

▲二十一日前場(焦げ付き) 大阪天候晴 天前寄二十三圓九十三錢と昨止より一錢安の兵庫前寄二十三圓四十四錢

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三三七 三六八番

入電にて當地當十九圓二十錢中十九圓七十二錢先二十圓十錢と寄付三錢と辷り五錢と五錢と同事に返して動かず連節焦げ付きの薄商内十四錢にと保合の散會

▲二十一日前場 當限㊀十九圓二十錢出來高八百石中限㊁十九圓七十二錢出來高千二百石 先限㊀二十圓十五錢四錢三錢㊁五錢㊃五錢四錢五錢㊄四錢出來高六千石

市場零聞

▲焦付薄商内 天候晴天土用今朝大阪の小甘きも二十一日上天氣本順入電にて二十圓十五錢と寄付三錢さ辷りたるも市場は一向氣乘りせず薄商内の裡に五錢と返し四錢と散合を告げたり市況は一面

▲正米界の依然强人氣 大阪の變動を傳へたるも大なる小口商内にて見送り狀態となり節々の動きなき近來の閑散であつた如く行はれず今後の變動如何ゝろべき

▲新動機待ち 前日來大阪の大變動を報じたる當市場の人氣は存外落付模樣にて高きは買物多く又安きは買物多く保合相場の狀態を呈

▲人氣は益氣迷ひ …

▲保合破れ如何 …

▲大手筋の見送り …

▲晴天を續くか將た近く雨となるか依つて一變動あらん尙又仕手の關係 …

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長三六七・三六九 略(サ)又(十マサ)

▲期近の乘替 本日前場に於て當月限の賣買にて八百石の商内行はれたり中限は當賣買にて千石 ㊀賣今二百石の商內行はれたり今割圓の商內は中限の取組たるものにて結局逆乘りの替で當限受渡し高は益々增加するに到るなら

▲(スイチ)店の開業從來の●店は今回「スイチ」と改め本日より開業したり れるか如何

▲㊂同店の賣二千餘石買千餘石
▲㊂同店の賣千餘石買千餘石
▲㊀同店の賣千餘石買千餘石
▲㊀同店の買千餘石
▲(スイチ)同店の買千餘石
▲㊇同もの賣千餘石買
▲㊇同店の賣千餘石
▲㊆同店の賣千餘石買千餘石

仁川米豆取引所 二十一日の九月限

前場	
寄付	二十圓十五錢
止め値	二十圓十四錢
高値	二十圓十五錢
安値	二十圓十三錢
出來高	六千石

平均值段	
一節	二十圓十四錢
二節	二十圓十五錢
三節	二十圓十五錢
四節	二十圓十四錢
五節	二十圓十四錢

賣買取組高		
七月限	一萬三千石	二〇、〇九
八月限	一萬九千八百五十石	二〇、一五
九月限	四萬千六百石	二〇、一五
十九日後場	前日と比較 一六安 四高	二〇、〇九

天氣

晴れ時々曇り

山三村洞中華（三八）の三名は大正五年三月中慶北金泉郡石峴面上院里李銑澤方に赴き鐵山視察の爲めなりと稱し銑澤を無理に道案内として同行…途中金八千圓を强奪し…偏三名は同年六月二十一日夜庖丁、懐中電燈等を携へ京城三角町朴鍾培方に侵入し金品を强奪せんと家人…同…年の…分となれり

◉連絡船上陸客　二十日午前八時五十分釜山入港新羅丸一二等客（一等五名）酒名賀祐、村瀬辰次郎、伊藤仁太郎、松下春平、石塚英三（二等六十五名）三宅長太、鈴木豊作、三上源治、同正一、菱江吉之助、太妻萬里、吉田英三郎、鮮國人團體二十三名（三等二百五十名）二十日午後九時十分釜山入港對馬丸一二等客

◉確かに事實が證明してゐる
狂犬病豫防注射の効績に就て
＝隈部京畿道警務部長談＝

本春來京城に狂犬病流行し人畜に咬傷を與へたるもの少なからず益々猖獗の模樣があつたから根本的豫防の方法を講じ以て禍根を絶つの必要を認め一定の期間畜犬を繋留し且つ畜犬の

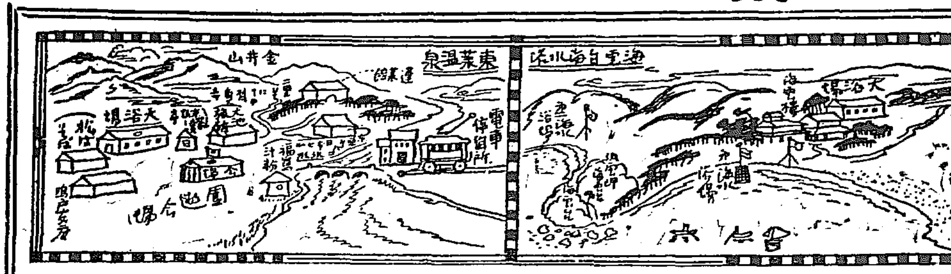
◎全部に對し　豫防注射を行ふ事と爲し先月十六日より注射に着手し今月十日全く終了した其總數は約千九百頭である元來此の豫防注射の必要なることは誰れも承知して居る事であるが之を單に畜主の自衞のみに任せて置く時は自然注射をせぬものも出來て根本的豫防の目的を達する事が出來ぬから特に一齊に

◎無料注射を　施行したのであるが幸に各畜主は公衆衞生の爲め進んで此注射を受け以て常初の目的を遂行することを得たのは誠に滿足に堪へぬ次第である而して其の効果はどうであつたかと云ふに右注射後は一頭も狂犬を出した事のないのは確かに事實の證明する處であつて即ち完全に豫防注射の

◎効果を奏し　得たのである尤も注射した犬の中特に生後數ケ月以内の幼犬に不幸にして斃死したのもあるが是れは全部注射反應の爲めに來たものであるか又は中には注射前既に狂犬の咬傷を受け病毒に感染し居り所謂潜伏期中のものであつて注射の効がなかつたものもあるかも知れぬが兎も角幼犬に對する注射量の未だ

◎經驗の充分　ならざりしものありしを認め中途より其量を減少し或は差控へたのである之は將來に於ける豫防注射上の大なる參考となつたのである以上の次第に就き斃死したものには誠に氣の毒であるが公衆衞生の爲め犧牲を拂つたものとして諦めて貰ひたい要するに今回の豫防注射は

◎根本的豫防　の目的を達し得たのであるが注射に依る免疫期間は先づ一箇年と云ふ事になつて居るのであるから決して將來永久安心する事は出來ないどうか來年再び又豫防注射を必要とする樣な狂犬病の流行することのなきよう各畜主に於て豫防に注意し平素特に交尾期に於ては可成繋留することは風俗の上よりも必要と考ふるのである



東萊 海雲臺 探凉大會

盛夏凉を想ふの時費用と時間を最も巧みに節約し東萊、海雲臺の凉味を思ふ儘漁る兩社主催の探凉團は

會費十二圓（滿十二歳以上 四歳迄八圓）

此低廉なる會費を以て京釜間往復汽車賃を始め一切の費用を支辨又

探凉會員乘用の汽車

は三等車乍らも鐵道局の好意にて新造美麗の車輛に坐席の餘裕を圖り普通二等の快感を覺へ玉ふ可し

「思ひ立つ日が吉日！」

再び來らざる此好機を逸せず奮て探凉會の一員として參加せられよ

◆美しい京の夏
艶やかな祇園會

◆京の夏は鴨川を中心に擴がつて行くのである、石造の欄干に電燈が眩しく輝く四條橋を挾んで、河沿ひにビヤホールの架出し床が並び、白いエプロンの給仕女が卓子の間をうろ〳〵する、先斗町西石垣木屋町裏の磧は次第に二階になつた葭簾の納涼床が架け連なり、低酌微吟羅衣の祇園女の下床に見るやうになつては京の夏は最う眞盛りである。

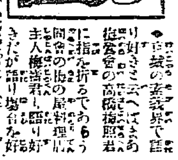
◆有名な四條磧の納涼は禁ぜられて今は全く痕跡もない、奇麗な小石が玉のやうに並んで玲瓏たる鴨川のいさゝ流れが床几の脚を洗ひ夢のやうな雪洞の灯影に京模樣の派出な友染の浴衣を著た大きな髮の舞妓が、石畳細工のやうな足を流れに浸して、小さな口に心太を啜るのを見たは遠き〳〵昔の思ひ出である。

◆善哉甘酒の行燈に赤きお福の面が描かれ、借馬の篝火燃ゑ立つて小家がけの見世物の囃子賑やかに門づけ二輪加口假色など床几の客を當てに往來した磧の殷賑は繪草紙に殘つてゐる、今の鴨川の水には一寸足を浸す氣にもならぬ、鴨川改修問題は府の事業案として論題になつてゐるが序に磧の納涼も復活させたいものである。

◆祇園會は京の夏の凡てを表徴したものである、夏季に於ける京の風俗習慣衣食住の全般に亙つてあらゆる生活の縮卷を展開してゐる友禪や絽の裾模樣に織物の帶を高々と結び、頸筋の白粉を三筋に塗り上げた京の町の娘は祇園の會でなければ見られぬ、活きた浮世繪である、鱧の料理は京の自慢とする處、赤白の源平燒、白湯がきの澄し吸物、子の煮附、祇園會は鱧のお祭りである。

◆家重代の名物屏風を立て廻らし軒には定紋附の幕に竹簾垂、緋毛氈に將棋盤を並き、娘子供は五色の石鹸玉を吹く、祇園囃子が遠く鉾町から流れて來る、兩側に建て連なつた提灯の灯がきたく、謠曲の聲鼓の音などもする、蓄音器や鼠花火の音も聞ゑる、そうしたうちに次第に夏の夜は更けて行く、これが祇園會の京の町の夜である

◆これが濟めば京の夏も最う秋風が立つのである、京の夏から鴨川と祇園會を抜き去つたら如何に淋しいものであらうか。（大阪）



◆京城の素義界で語り好きと云へばまあ後家會の高橋梅照君に指を折るであらう同會の梅の屋料理店主人梅遊君も語り好きだが語り場合を好むらしい同じく同會の安藤如雪君は語りに就いて意見が有つてゐる人だけに好い三味線の註文が六ケしいそうだ◆蛇の目君の腰巾着となつて大阪へ歸つた野澤文平は近々又京城へ出るといふ噂もあつたが一向そう云ふ模樣も見ゑ無いやうだ◆文平で思ひ出したが永らく當地に足を留めてゐた南大夫も近々大阪へ歸るらしい、今度京城に來る時には文樂で可成りの處を語るやうになつて慾しいと天狗連中の噂とり〳〵◆巴城館の松本燕樂君は大阪から好い師匠を抱へて思ふ存分に語つたり稽古したりしたいと云つてゐるそうだ◆京城も一時は老人の淨瑠璃研究者が多かつたものだが近頃は大分減つて來た老人が減つて若い人が殖ゑた譯でも無いから京城のデン界もこのところ暫らく下火の態◆靜岡龍糸は病氣で入院してゐたが三日前目出度く退院したそうだ◆竹本照鳥太夫が近々退京するので歡迎會に連座した師匠連が送別會を催すといふ噂

●赤痢續發

龍山漢江通十一番地松本政吉（三）は赤痢同じく元町一丁目廿六番地西村與三松（三八）は疑似赤痢にて▲京城古市町鐵道官舍伊藤淳彦（五）は赤痢、昌信洞村氏（四）も同じく赤痢として何れも二十一日診斷され夫れ〳〵入院加療中

◉人蔘エキス發賣禁止　京城本町二丁目海市商會發賣の賣藥人蔘エキスに不正のものあり藥品取締規則により此の程本町警察署より其の發賣を禁止されたりと

渚の砂

■梓●校●長●排●斥　和歌山縣西牟婁郡岩田村岡田分教場小學校長田政彦（二六）は田邊町の藝者を内密教場に引き入れたとかの噂で村内の青年會員は訓導としての資格を缺き校長排斥の意見書を提出した

■男●女●の●組●打　鹿兒島縣日置郡市來村山口きく（三八）同郡下伊集院村大西久吉（三八）の兩名は此間二時間に亙つて大格鬪の末與方共に傷を負ひおまけに二十圓と十五圓の罰金迄食つた

■高●家●の●溺●死　東京の富豪太田商店（四五）氏は十五日江戸川筋市川鐵橋附近で令息娘等と遊泳中令嬢が深水に陷つたのを救助中突然行衞不明となつた

■白●色●の●燕　新潟縣佐渡の島二宮村の古津町で此の頃一羽純全身白色の燕を捕へた古老は吉兆の瑞兆だと言つてゐるさうな

■猫●婆●の●頓●死　岡山市上出石町眞田やね（五八）は稻荷堂詣りに熱中して深山の猫を愛ひ猫の位牌や掛軸を毎日拜んで暮してゐたが十五日汽車で備中高松の稻荷神社に参詣した際急に卒倒して死んだ

神社とお寺と教會

○聖公會（南米倉町）　二十二日午前八時三十分日曜學校午前九時三十分聖餐式說教「聖歴」一色司祭午後八時晩祷說教同

○京城基督教會（南米倉町）　七月廿二日午前八時半日曜學校、聖餐禮拜、宮川牧師午前十時禮拜說教「惡魔の首途」渡瀨牧師午後八時半夕拜讚美歌練習「羔羊之人間」宮川牧師

○本能寺（水標橋通）　廿二日午後八時より定期講演會開會、主任加島日念師執筆吉村正道師の日蓮主義に關する講演あり

○神聖教會所（南山町三丁目）　月次祭典は來る二十二日午後九時より祭典執行式後講演あり

○メソヂスト教會日曜日集會（旭町二丁目）　廿二日午前八時四十五分日曜學校同十時禮拜說教『我は驗者を助とせず』藤岡牧師午後八時半傳道說教『世界の通用語』同牧師

○京城日本基督教會（長谷川町）　七月二十二日午前九時日曜學校同午前十時禮拜說教『最高之信仰』井口牧師同午後八時半傳道說教『マルタとマリア』金子牧師

○妙心寺提唱　妙心寺別院にては二十二日午前九時より後藤瑞巖師の太鼓臺發師碧巖錄の提唱あり

○南山本願寺の信友會　二十一日午後八時半より南山本願寺に於て信友會例會左の講演あり　▲歸命の宗教大幸布教監督▲眞宗の倫理觀段特別教使▲予の信友會員たる理由神田喜三郎

演藝案内

明治町　浪花館　電話二六〇
◉有名なる新講談伊藤痴遊師來る　初日演題◉秀吉の出世譚地曾南外◉陸奥伯外傳宗光　九◉江藤新平（上）大久保利通（三席）痴遊　◉快傑高杉晋作　同廿三日同廿四日　同廿五日同廿六日　同廿七日同廿八日
入場料一等金九十錢二等金七十錢三等金四十錢　大阪池田會社京城釜山一手代理店

黄金館　電話二六三七 六五二
△七月廿日より中元御禮特別大興行
○新派大悲劇『涙の海』（全十八幕）藤田正雄作品　…以て御覧に入れ候
○舊劇女忠臣義女義士傳（全三巻）市川新十郎一座
○泰西お伽『野花姫』（全三巻）米國ユニヴァアサル會社作
◎豫告　其他賓器商品取扱へ御覧に供す各地に於て好評なる泰西惡劇大悲劇△六月中の出來事…

京城壽町　壽館　電話一〇九〇
來る七月二十一日午後正六時より第卅八回筑前琵琶温習會
出目▲赤垣源藏水汀▲臺灣入水奏▲常陸丸木岳▲大高源吾水爵▲護良親王水旭翠▲茶臼山水映▲千手の前水蓮▲靈馬旭旭能寺旭彩▲湖水渡旭辞▲川中島旭哈▲木援旭子▲芳流閣旭玉▲木内宗吾旭嚴▲屋島旭爐▲寶盛旭水▲小松原（應援）旭扇
入場無料　下足料五錢

京城壽町　壽座　電話七五八番
内地各大劇場に於て大好評を博したる帝劇女優山村都紀子以下男女優三十餘名來る一行は廿日乘込み廿一日初日に決す

!お待兼ねの!
伊藤痴遊君
愈今晩より開演
浪花館

櫻井町 大正館　電話八七三
七月廿日より納涼特別興行　チャプリン大會と餘興大寫眞
▲日本活動寫眞株式會社特約
▲チャプリン大會番組
○米國キーストン會社特作逸品▲年收百三十四萬圓の世界最高給料取り喜劇俳優チャプリン外數名出演
□滑稽活劇チャプリンのパン屋全二巻
□滑稽活劇チャプリンの拳闘全二巻
□冒險喜劇チャプリンの怪潜艇全五巻
（ヤプリン君の奇抜な…）
○舊劇餘興二代目兒雷也全四巻　足利持氏の…

初日滿員　納涼興行
お待兼のキーストン會社近作
チャップリン大會
番組　怪潜艇　全五巻
パン屋　全二巻
拳闘　全二巻
特別番外
二代目　兒雷也　全四巻
日活特約　大正館

東京小林商會滿鮮一手代理店　米國ユニヴアーサル會社特約　早川演藝部經營　有樂館　電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
當る七月廿一日より公開
米國ユニヴアーサル會社製造
◉滑稽『西坊海濱の巻』十七分の内　パイツン・チャーリー主演　喜劇『惡兒』　都樂說明
▽滑稽『愛兒』十七分の内
○滑稽活劇『ノッポの手柄』十七分の内　エルコーフィルム社製造
◎滑稽正劇『アリス嬢』主任南鶯公利說明
▼東京小林商會苦心の撮映　舊劇『聖人坂銀杏の由來』

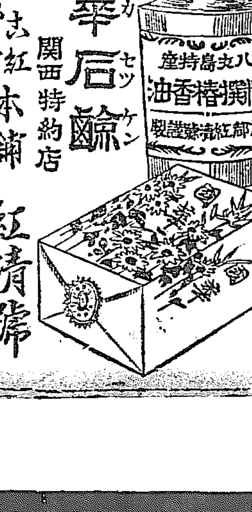
蚊帳 荷著
最安時期仕入格安提供
龍山元町　こまや植西呉服店　電話四二八番

拙営業山鑛山暴風雨被害の爲め作業の一部中止に付ては關係各位及同業者諸氏の深厚なる配慮を煩し御芳志奉萬謝候御陰を以て其損害も案外輕微にて復舊工事を終へ僅に休業に止まり平常の如く作業を繼續し據て生じたる總ての遲滯を回復し豫て定めの爲め日下努力中に有之候條幸に御放慮被成下度御報申上候
小林鑛業本部

★サッポロビヤホール
旭町三丁目　大正バー　電話二〇九六番

移轉開業廣告
謹啓炎暑の候各位益々御清榮の段奉賀候陳ば弊店儀類燒の爲め久敷休業罷在候處今回左記の所に移轉愈々廿二日土用丑の日を期し開業仕候間舊に倍し御引立の程伏して願上候
京城南大門通一丁目（郵船會社商業銀行）隣
天婦羅 生そば 仕出し料理
天金　電話五九八番

八丈島特産　精撰椿香油
牛乳二優　國華后　セッケン
みやこ紅　白粉都ノ雪　本舖
關西特約店
紅清號



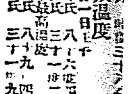
京都 紅清號ニ注意有

大益
元金損なし年三割利廻り◎月々配當
金利
何百年でも元金を損せず毎月二百圓元金に付必ず五圓の金利をどんな遠方に居るも取れる仕組で尚此家屋は出資者の財産に成升是は當會社獨特の考案で此世界類無人を利し己を利し貧民救濟理想大部會化新町建設の大事業で目下數萬坪の大地積に盛んに建築中で今回更に資本を増大致し入萬圓募集に著手致しました如何に當會社に出資金の最も確實安全で又一文も缺損せず年三割確實に月々金利が取得せらるゝかと云ふ事の細は說明書に一切記載して有升故至急郵券封入御請求下さい
東京三河島北新町　本社用
建物興産合資會社

京龍左官業者救濟會
請負單價値上廣告
木摺壁壹坪に付壹圓七拾錢以上
眞壁壹坪に付壹圓八拾錢以上
左官手間賃壹人に付金壹圓八拾錢也
今回諸物價騰貴之爲め組合の決議に依り來る八月一日より右之通り値上候也

勤儉堂主人述・發賣・東京牛込新見附　振替参壹八四弐　同仁社
新刊　債券利殖秘傳　定價卅五錢　郵共税
安全確實なる納取買に依り資金を年四割乃至廿割に運轉し得る事實を詳說し且つ勤業貯蓄債券及戰時貯金券（元金四圓の二百五十倍千圓の當籤あり）項に關する大小要項を網羅したり急讀せよ

謹告
迂生儀今般出張先にて不慮の事より數傷を負ひ候處各位より色々御見舞に預り恐縮奉存候爾後經過至極良好にて不遠退院の運に可至と存候間御安心被下度候一々御答禮可申述筈に候へ共取込中未得其儀不取敢以紙上一應御挨拶申上候
於京城明治町和田病院
七月廿一日
田村英太郎

豫報

…
何番何號と明記に限る
▲宛名は京城日報販賣局讀者係

▲京城温度　七月廿一日正午　京城三十一度六分　仁川……

▲投書の際は「何日の……」と明記されたし　▲一日……
…告者には五十錢書籍券を呈す（但し……）
…發表後一週間以内に劇場又は同業者に限る

明君道中記

第二百十三席　田邊南龍口演

戸塚源内は晴巖の子にして父の跡を襲で神影流の劍道指南をいたして居る者であつて徳之助は此へ訪ねて父の書狀を出すと、素より義俠の人で徳之助の志に感じて門人と爲し手づから神影流の劍術を敎まする、徳之助は性來利發のみならず大望を果さんといふ身であるから一心不亂に學びまする、茲に四年を過いたしてました、徳之助十七歳の時に免許の腕となりました、戸塚源内は此の徳之助の腕前を見て　源『最早其方の腕前となれば充分敵が討てるから早々出立をするが宜しい　徳『永年の間一方ならぬ御厚情此の上は當所を出立いたし本懐を遂した上再びお目通りをいたします　源『隨分共に心附けて事を爲さい』徳之助が出立の際に門弟共が餞別を贈り途中まで見送りまする、龍野を立つて明石に出で、それより摩耶の觀音に參詣いたし、大阪に出まして暫く是を止め吉永東馬を探しましたが一向に知れません乃で大阪を立つて京都へ出で宿を求めて毎日市中を歩く是は敵吉永を詮議の爲でございます、一日北野神社へ參詣をいたし下立賣まで來ると俄の夕立でございます、最も京都といふ處は北山時雨と云つて時々雨が降て來るさうでございます、徳之助は雨具がございませぬ故大きに困り彷ふを見ると傘屋があつたから其家へ駈込んで參りまして　徳『コレよ傘を一本貰ひたい　主『コレは入らつしやいまし、傘を差上げますか　徳『降りさうもなかつたが俄の雨で困つた　主『イヤもう途中雨に出逢ふ位困ることはございません、まアお上りなすつて一吹召上りませ、大した降もございますまい　徳『雲切れがして居るから直に歇むとは思ふが何にいたせ一本貰つて置う　主『傘さへ持て居ッしやれば結構でございますから』そこは商人のこと世辭を云て茶なぞを出て待遇します徳之助は向ふを見て　徳『コレ亭主向ふの道具屋は家號を芭蕉屋と云ふか　主『左樣でございます　徳『珍しい家號だな、何か變た良い道具でもあるか　主『何アに碌な物はございません先代の時分には佳い道具もありましたが今の庄右衛門といふ人は根が武家出で素人でありますから目も利きません、碌な物はありはいたしません　徳『ウム武家出であるか、何處の者で　主『何でも九州久留米の方から來たと云ひますが何處から來たか判りはしません　徳『彼の家へ婿にでも入つたのか　主『それが旦那商い壁では云へませんが、先代の庄右衛門と何處かで懇意になつて度々遊びに來る内に女房のおなかと云ふのと密通いたして其内に庄右衛門が死去ました　徳『成程』『何う話は極つたか彼家へ入夫になつて二代目の芭蕉屋庄右衛門となりましたのでございます、アレ旦那御覽なさい彼處へ歸つて來たのが庄右衛門でございます』と云はれて徳之助が顧眄て見るとそれは見違ふ方なき吉永東馬であるから、ハッと思つたが大に喜び　徳『コレ亭主天氣になつて參つたから傘は要らん　主『宛然彼奴つちやア叶けません傘を賣うと思ふから骨を折つてお世辭を云つて、おまけにお茶まで御馳走して買はずに行かれては困ります　徳『困つても宜い、天氣の好いのに傘は要らん』と一儀表へ飛出してしまつた亭主は驚き　主『甚い人があつたものだ』と愚痴を云つて居ります、貴方は徳之助七八間向ふへ飛んで參つたが充分に支度をいたし、袴を掛けた上へ羽織を撚つて取つて返した芭蕉屋の店先、楷是から何うなりますか

うなぎ　龍山　松華　電話三一八番

安部醫院
外科　尿器科　淋科　一般　皮膚科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光敎會隣　電話四一九番

七月廿三日　月曜　舊六月五日　丙寅　本命一白　北　危　佛滅

[illegible]

夏の胃（なつ い）
夏は誰も胃が弱り、水アタリ、暑氣アタリ食傷等の吐瀉病に罹り、其他の餘病を引起す恐あり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥とし玉ふ事肝要なり

定價（胃活錠）二百粒、壹圓、五十錢、廿錢（胃活）一圓、六十五錢、四十五錢、廿五錢、十錢
請賣全國到處の各藥店にあり
本舖　東京・大阪　山田安民藥房

老舖
秘密守り丁寧に精々高價御預り可申候也
京城北米倉町六四（舊名茶谷前小路）電話二六五四番
櫻谷質舖

新荷著
スヰス製 懷中時計
アンクル機械

（ニッケル側）十八形（片蓋）二圓五十錢
[illegible]

機械堅牢美麗優秀時刻正確實用的なる事天下無比廉價

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商
イングレッツレー商會
本店　京城本町二丁目　電話九七二番

懸賞繪探し
金指環差上ます
繁店業務擴張紀念の爲め左記繪探し問題正解者に美術彫刻付プラチナ式象眼入正十四金色（中身迄）目方約二匁五分の紀念指環を二個限り差上ます本品は鍍金や金張にあらず又玩具の如き物にあらず製造元の保險證付也應募正解者多き時は抽籤に依る指環彫刻模樣は御望にも應じます（彫工費送料申受く）
問題　繪探し●此廣告中の指環の彫刻模樣は何になりや
解答は葉書にて〆切は八月五日、發表は八月中旬
東京神田區北神保町四　貴金屬品卸仲買　三光堂

賣却品（鐵工業現狀の儘）
一 溶鑛爐　徑四尺高十五尺外各種
一 スチームエンジン　十馬力一臺
一 吸入瓦斯發動機　八馬力外
一 旋盤　七、八、十各尺
一 十噸横置起重機　一臺
一 レカルバン　五尺外
一 ボールバン　各種
一 煙突　徑一尺高二十尺　一個
一 工場建坪　約二百坪
其他鑄工鐵工附屬品及諸雜品共總金額約壹萬圓內外
右御入用の方にて現品一覽希望者は七月廿四日迄に左記の所へ御來談を乞ふ
仁川港濱町　漆陽商會內　橘　實

高尚で美しいお化粧の仕方

美人となる近道

一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉

（第一に）舶來石鹸よりも牛乳よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顏を洗ふ。

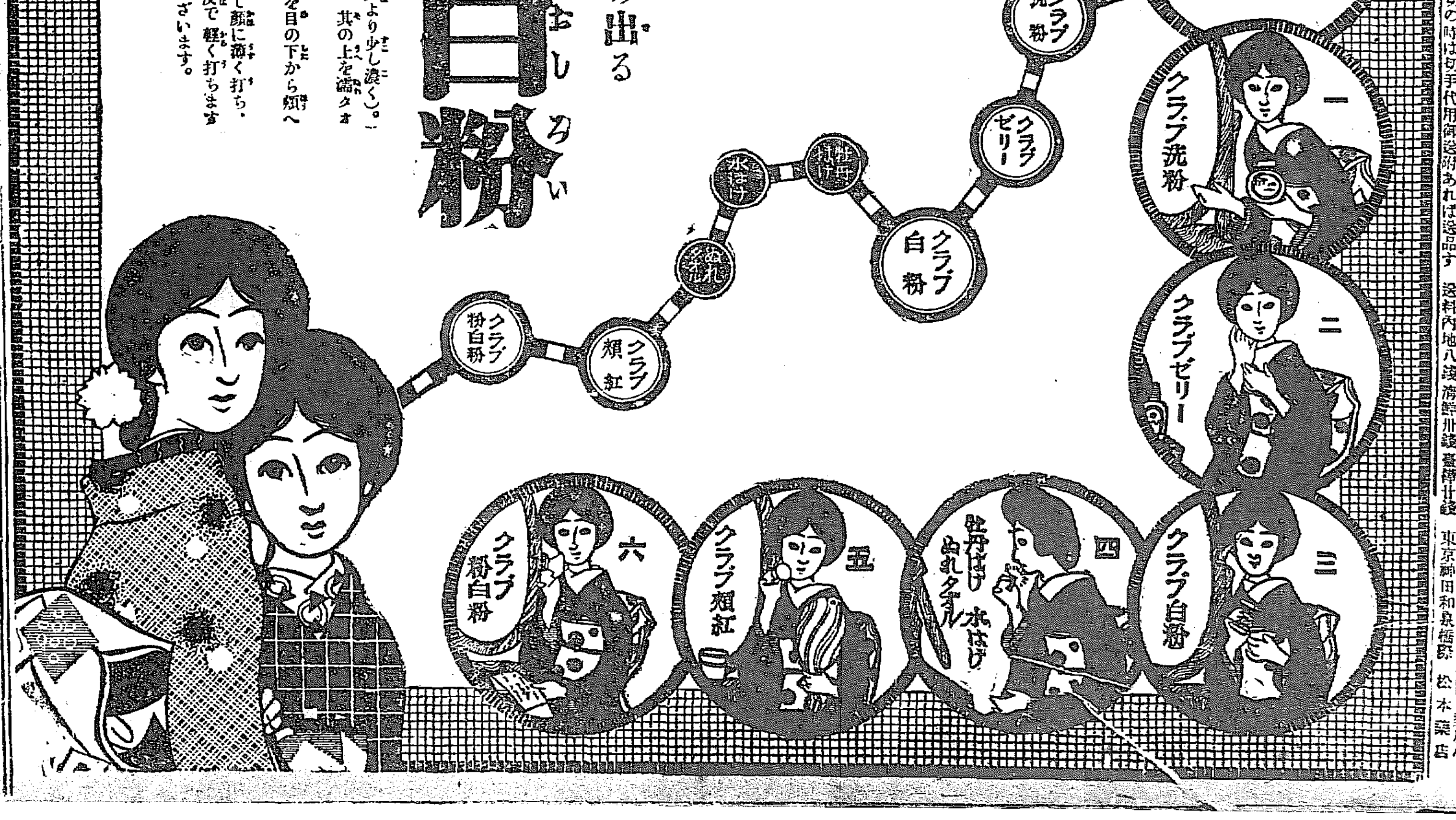
（第二に）皮膚の美を養ふクラブ美身ゼリーを襟から顏へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームを代りに用ひ、指先で能く擦込んでから蒸タオルで拭き取る。

（第三に）

（第四に）クラブ白粉を掌に取り、指先で能く煉つてつける。（襟は顏より少し濃く）。牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、其の上を濡タオルで抑へて白粉を落付かせる。

（第五に）お顏にホンノリ櫻色の健康色を添へるクラブ頰紅を目の下から頰へかけて薄く刷きつける。

（第六に）お化粧を引立てるクラブ粉白粉をセーム皮につけて顏に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム皮で輕く打ちます。高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。



新案耐水調革
新田帶革
朝鮮總代理店　京城本町四丁目　白神洋行
京城南大門外　白神洋行支店
新田ベルタ調帶
定價表申込次第送呈

七月廿日ヨリ同廿六日迄
蚊帳大賣出し
京城明治町　唐川呉服店　電話二六一番

ルーデサック　特製品
十個四十錢　B十個六十錢　特形一個
廿五錢　女用一個八十錢　月經帶一個
七十五錢　廿個以上一割引　郵券代用一割増
要送料　振替京城三二七番
京城黄金町三　山田文殊堂藥房

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す
送料內地八錢　滿鮮卅錢　壹瓶廿錢
小瓶二十錢　得用四十錢
東京神田和泉橋際　松本藥店

宮內省御用酒
天下逸品の灘釀
菊正宗
販賣店到る處にあり
朝鮮發賣元　合名會社　嘉納商店　本店
釜山倉庫部　電話四一三

汽車發着 [illegible]

京城日報　第三版

京城日報

戰爭と交戰諸國の陸軍（二）

國民皆兵の實

近世に於ける兵器の異常なる發達と戰術の長足なる進歩とは共に戰爭遂行上に多數の兵員と訓練されたる軍隊とを要求し、而して戰爭勝敗の原因は大半此二要件の具備と否とに依りて制せられんとするの兆歴然たるに至れり。之が爲め現戰爭に於て交戰諸國は皆未曾有の兵員を戰場に送り、激戰の頻發と戰局の擴大とに因る夥しき損傷兵に對しては所謂國民動員を以て之が補充に力む。試に最も確實なりと信ずべき筋の調査に依り、交戰諸國の人口と之に對する召集總兵員の比を一瞥せんか、本年五月に於て聯合國側に在りては、佛の六人に一人を最多として、英の七人半に一人之に亞ぎ、[illegible]七人に一人、[illegible]一人、露伊は十人に一人、同盟國側に在りては獨墺の六人に一人、土の八人に一人、勃の七人に一人の比を示せり。之を日露役に於ける我國の常時の人口四千二百萬に對する我國の出征兵員四十一萬即ち百人に一人に比せば思ひ半ばに過ぐるものあるべし。而して同時期に於ける戰爭全兵員を通算すれば、聯合國側は八百九十萬に對して、同盟國側は五百八十一萬を有せり。更に數日前のストックホルム來電は獨逸が六月中新に百萬の兵員を召集し、尚現に二百萬の兵員に對して動員中に在りと報せり。今や交戰諸國が兵員として召集し得べき程の男子は召集し盡して遂に少年を以て戰線に就かしめ、婦女子を以て戰地に於ける補助勤務に使用しつゝあることは吾人の屢々耳にせる所なり。乃ち交戰諸國に於ては如何にして損傷兵を補充し、如何にして戰線に於ける兵數を維持すべきかゞ、刻下の急務とせらる。此時に方り交戰諸國が過去三箇年間兵員徴集に對する苦心努力の經過を知らんことは吾人の最も深き興味を感ずる所なり。

交戰諸國が第一動員に於て既に豫備役後備役の全部を召集せるは言を俟たざる所と爲す。從つて又補充兵役者の如きも漸次に召集せられて皆戰線に在り。佛の如きに至りては第一動員に於て國民兵の大部を召集し、獨墺亦略ぼ同一の狀態にあるものゝ如し。然も此際各國に等しく起れるの問題は徴兵年次の繰上と兵役年限の延長なり。開戰以前各國の徴兵年次は皆滿二十歲に一致せり。然るに兵員補充の急切迫し來るや何れも徴兵年次を繰上げ未丁年者の徴集、敎育を開始せり。蓋し徴兵適齡に接近せる未丁年者は之を徴兵不合格の丁年以上の國民兵に比するに其體格に於て、將た其元氣に於て、乃至其員數に於て優越せるものあるに因る。此見地より年次繰上を實行せる諸國の狀態を見るに千九百十八年兵に於て佛、露、獨は約二年、墺は二年半、英、伊は約二年、佛は約一年半を平時より早く入營せしむることゝなれり。又兵役年限の延長に在りては各國或は平時の法律に依り又は戰時特別の規定に依り現戰爭間兵役の轉移を停止せるを以て事實上年限延長の形を成すに至れるが、墺伊二國は新に法律を以て兵役義務年限を延長し、墺は從來の四十二歲なりしを五十歲に、伊は同じく三十九歲なりしを四十四歲に引延せり。而かも現戰爭の續く限り服務の義務あるは各國同一と爲す。此間に於て英は遂に徴兵令の施行を決せり。由來英國は志願兵制度にして、開戰後約一年半は此制を持續したるも千九百十五年秋より到底戰地兵力の增加を期し得ざるのみならず、損傷兵の補充に困難の狀を示せり。仍て所謂ダービー募兵案を實施して半強制的募兵を行ひ、翌千九百十六年一月二十七日更に獨身者兵役法を制定せり。然れども戰局の擴大と激戰の頻發とは如此姑息なる兵役法を以て所要の兵員を滿す能はざるに至り、遂に同年五月二十五日一般的徴兵令の發布を決行せり。最近のシャトル電報は更に加奈陀に於ても本月八日徴兵法案が下院にて大多數を以て可決せられたりと報ず。以て大勢を察す可なり。上述の外、徴兵延期猶豫の停止、兵役免除者の再檢査、海兵の陸戰流用、外國人志願者募集、又は軍國の要務に携はれる不可充要員に婦人若くは兵役に服し得ざる男子を以て代用するが如き、英佛獨に於ては強制若くは半強制を以て其實を擧ぐるに力め、殊に獨に於ては犯罪者の特赦をさへ斷行せり。乃ち各國何等か務に堪ふべきものは一人の微と雖も之を除すべからずして徴集しつゝあるの狀、所謂國民皆兵の實ありと謂つ可也。

誰（19）

布施生譯

檢事局へ往く道すがら警官の詰所を通ると、其中に先日鈴富が身邊を檢査される時それを差止めてくれた人が居て、通りすがらに『確聞した、呉れるまへ、無實なら明りを立てゝ呉れる人もあるからね。』と聲をかけた、鈴富は喫驚しながら何とか御禮を言はうと思ふうちに、其人はもう側を通り過ぎて何處へか往つて見えなくなつた。『あれは何といふ方です。』と護送の警官に問ふと、『鐵骨大探偵さ。』『はてな、まだ一度もお目に懸つた事はない方だが。』『いやそりや分らんぞ、あの人は變裝の名人だ、何時どんな姿で何處に居るか知れたもんぢや無い、現に君が今あの人の化けたんだと知つて居るかね、或はそうかとも思ふ位だ。』鈴富はそれにしても探偵に馴染があるやうには思へなかつた。

檢事は先刻差許した父との面會で鈴富が定めし神經を興奮させた事と思ひ、それに乘じて訊問してみたら案外早く白狀するかも知れぬと考へ付いたのであつた。そこで俄に召喚を試みたのであつた。檢事は鈴富に向ひ、『どうだ考へてみたかな。』『何も考へる事はございません。』『留置所で涼んでも矢張り左樣かな、情狀を酌量はうと思へば正直に恐入つて白狀したらどうだ。』『何も前述して戴く理由はございません。』『それぢや、あの十萬圓はどうなつたのか。』『それが分れば私は此處へ來なくとも濟みませう。』『では矢張り何處までも過日言つた事を主張するんだな、畢竟主人が犯人だと云ふのだらう。』『主人か又は別の人か、それは分りません。』『合言葉を知つてるのは君の外には主人だけぢやないか、結局犯人は君でなければ主人と云ふ事になる、しかし其場合主人が自身自分の金を盜んでどうするのだ。』『さあそこです、それが私に呑込めません。』『處が君ならあれを盜む理由はうんとあるやうだ、それは兎に角、君は昨年中にどの位金を使つた、どうだ言へるかな。』鈴富は何の躊躇もなく『言へます、四千圓です、金の計算だけは几帳面にやりますから。』『うむ其金の出所は。』『千五百圓は母親の遺産を分けて貰ひました、銀行での俸給と賞與とが千八百圓ありました、株で儲けたのが五百圓、殘餘は借りました、尤も銀行に[illegible]金が千圓ありますからそれで返すつもりでした。』『うむ、そして誰から借りた。』『八島顯太郎から借りました。』八島と云ふ男は盜難の前日巴里を出發て今は何處に居るか分らないと云ふ事である、檢事は當分[illegible]申立を採用しておく外は無かつた、『愈々といふ時までは金を取寄せてはならない事になつてゐるのに『何故前の日に[illegible]を取寄せた』『それは藏部氏が朝早く受取に來る筈になつてゐたからです、私は[illegible]遅れる手筈でしたから』『藏部と云ふのは君の友人か』『いゝえ、友人ところか大嫌な人間です、尤も八島とは大變親しいやうですが』『よし、そこで君が拘引の前の晩、即ち二月二十八日にはどんな處へ往つたか委しく言つて見給へ』『あの日は、左樣、五時に銀行が退けましたから[illegible]ネの町まで八島に面會に參りました、用向は貸してくれと云ふから六百圓持つて往つてやつたのでしたが、生憎居りませんので家の人に預けて歸りました』『うむそれから』『歸つてから友人と飯を食ひに參りまして[illegible]飯を食ひに往つてそれから[illegible]』鈴富は少し言ひ兼ねた、檢事はそれを見た[illegible]と謂はねばかり『言へないか、[illegible]や此方から言つて聞かせやう、料理屋から歸つて衣類を着換へて女優の裸ダンスを見に往つた』『贅澤はその通りです』『君は裸ダンスの[illegible]一度なんか山路といふ女優の[illegible]事件にも關係したぢやないか』『いゝえそれはあの家の[illegible]事件で[illegible]されただけでした』『君は又其[illegible]で五百圓負けたぢやないか』『いゝえ三百圓です』『よし、三百圓でもよし、君はそれを翌朝小切手で拂つたね』『左樣でした』『君が拘引された時は君の机の抽斗に四百四十圓、懷中にも六十圓あつた、そうすると一日にメて八百圓か』鈴富は流石其筋の取調は行屆いたものだと感心せざるを得なかつた、それで『御の通りです』と閉口して答へると、[illegible]事は急に嚴然とした調子になつて『さあ、其金は何うして拵らへた』『それは其節少々所持の株式を賣りまして五百圓出來ました、それに金庫から俸給の前渡しの心算で三百圓出しました、全く私は何も隱しは致しません』『何も隱さないと云ふ者が之はどうぢや』と檢事は手紙を一通取出して突付けながら『こんな物を態々宥の眼を忍んで女の處へ屆けやうとしたぢや無いか』鈴富は之には急所を突かれた。

夏の金剛山

河合新藏

[illegible]

仁川期米

	[illegible]	[illegible]	[illegible]
寄付	二二、三五	二二、八九	二三、三七
後場	二三、一	二二、六八	二三、一九
止め	二二、三二	[illegible]	二三、一九

▲二十一日摘要 ▲大阪正二十四圓十八錢と高く[illegible]寄未一錢高く寄付き[illegible]二十[illegible]錢と[illegible]十五錢と[illegible][illegible]兵[illegible]二十三圓六十一錢 東京二十[illegible]三圓四十九錢[illegible]二十四圓十四錢の入[illegible]たるも二十[illegible]丁度と[illegible]物[illegible]

多く十八錢と押したるも[illegible]く一[illegible]錢と返し一錢と[illegible]市況は大[illegible]に[illegible]を示したるが大阪安に下押したる[illegible]し[illegible]を示したる[illegible]何となく强硬の成行を不知[illegible]後休日越しの變動如何

▲[illegible] 同店[illegible]五千餘石買五千餘石

▲[illegible] 同店の賣三千餘石買三千餘石

▲[illegible] 同店の賣千餘石買千餘石

▲[illegible] 同店の賣千餘石買千餘石

▲一 同店の買千餘石

▲休日越如何

今や大天候期に際し明休日[illegible]節に相當し此節の天候如何は以つて本年の稲作[illegible]

▲仁川現物界

[illegible]米十九圓十錢にて八百叺計出來たり[illegible]依然保合にて今朝[illegible]米千叺[illegible]十九圓十[illegible]にて出來たり向[illegible]れば內[illegible]の買[illegible]

後場寄付	二十圓二十五錢
止メ	二十圓二十二錢
高値	二十圓二十六錢
安値	二十圓十八錢
出來高	二萬四千四百五十石

七月限	一萬八百石
八月限	二萬八千四百五十石
九月限	三萬九千八百五十石

▲[illegible]京城南大門通五丁目を疾走中の[illegible]合より出來れる蛤洞金永元の母李姓女(七一)を突倒して頭部其他に負傷せしめ李姓女は稍重傷にて目下加療中

東亞煙草　中元景品附大賣出抽籤番號發表

（景品番號はイ號よりホ號迄各組に共通す）

▲當籤番號（五等）前日の續き

[illegible]

▲等外郵便葉書三萬五千本

[illegible]

[illegible]

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

○衆口一齊講和を絶叫す

獨逸參謀長ヒンデンブルグ元帥戰線より伯林に歸還するや市民一齊に此際速に敵國と和を講ぜよと絶叫せり(桑港電報)

○獨逸講和提案內容

既電の如く獨逸帝國議會は過半數の賛成の下に議會に講和案を提出したるが提案の內容は戰後國交和親の準備として產業上の平和に贊し尚領土併合及既に實行せられたる產業上及び財政上の方針は如上の提案と矛盾すと云ふにあり(桑港電報)

○陰謀檄文と國民の憤慨

露國にて武力を以て現政府を顛覆すべしとの檄文を四方に發したる者あるも少數人士の無責任なる行爲と見做され一般國民は敵意を以て之を迎へたり(露都電報)

○小露西亞人自治要求

藏相文相及び救濟大臣の辭職

小露西亞は政府に自治を要求し其の結果立憲民主黨出身の藏相シンガレフ氏文相マヌイロフ氏救濟大臣シヤフスコイ氏は辭職せるが右の諸氏は小露西亞人に自治の保障を與ふるを拒絶せるものなり(露都電報)

○芬蘭獨立を要求す

芬蘭議會は極端なる擾亂に陷り芬蘭人は露國政府に對し獨立を要求したり(露都電報)

○舊議員國會開會決議

天津在住の衙參、衆兩院議員六十八名は十八日日本租界神戶館に參集過般の解散命令は違法なるを以て之に服せず八月一日を期し上海に國會を開會するに就き夫れ迄に上海に集會す可く申合せを爲せり(天津特電)

○馮氏北上

馮國璋氏は二十六日家族と共に北上す可し(北京特電)

○改正法律公布

第三十九回帝國議會の協贊を經たる左記法律は何れも御裁可を經二十一日の官報にて公布されたり(東京特電)

一、軍人恩給法中改正法律
一、臨時國庫證券法第四號中改正法律
一、北海道拓殖鐵道建設費臨時支出に關する法律
一、電話事業公債法
一、町村農業公債法中改正法律
一、裁判所設立に關する法律
一、大正二年法律第九號中改正法律
一、農業倉庫業法
一、蠶絲業法中改正法律
一、日本勸業銀行法中改正法律
一、農工銀行法中改正法律
一、戰時海上再保險法
一、工業所有權戰時法
一、北海道拓殖銀行法中改正法律
一、產業組合法中改正法律
一、東洋拓殖株式會社法中改正法律
一、輕便鐵道補助法中改正法律
一、借入鐵道及輕便鐵道の買收に關する法律

○重砲兵學校卒業式

相州浦賀なる陸軍重砲兵學校にては二十日午前十時卒業式を擧行し[illegible]
陸軍砲兵少尉 河合長明

○ナイト提督參內

答禮使米國亞細亞艦隊司令長官オースチン、エム、ナイト提督は幕僚を隨へ二十一日午前十時三十分參內鳳凰間にて天皇陛下に謁見仰せ付けられ米國大統領の謝意を奏上して一先づ退出午後零時三十分豐明殿の午餐に召されたり(東京特電)

○福羽子爵叙勳

大膳職子爵福羽逸人氏は病氣の爲め辭表を提出したるが長き退にては從來の功勞を思召され廿一日左の如く叙勳の御沙汰ありたり(東京特電)

大膳職從三位勳二等子爵 福羽逸人
叙勳一等授瑞寶章

○勸銀定期總會

日本勸業銀行にては二十一日午前十時第五十期總會を開き理事川村純藏氏任期滿了に就き後任候補者を記名投票に問ひたる結果仙一𨓜、桑田熊藏の兩氏當選したるに付き具申することゝし次で同銀行法改正法律通過の結果定款變更の件は異議なく可決し猶今期利益金二百二十一萬八千餘圓に對し一割の利益配當案を承認し十一時三十分散會せり(東京特電)

○田付公使歸朝

[illegible]

[illegible]ねて選定中なりし仁川商業專修學校海水浴場は昨年通り猫島に決定既報の如き設備の下に二十一日より開始

[illegible]輪株式會社は當局に於て愼重なる調査を行ひたる上出願者に對し屢々書類の訂正をなさしめたる結果愈々[illegible]にして業務前述の如く現丸千運送店者たる辻川、中井氏等の倉庫を充當業務を引續き且つ倉庫業は發起[illegible]

[illegible]發展して現在實數は全部で百五六十名の多きに達して居る而で是等の人々は誰れ云ふとなく親睦相扶の意味[illegible]椅子等各數十を用意し其他の準備至らざるなく驟て來り會するもの米屋雜貨店、旅館等の主人公を初め其他[illegible]で興を添へ妓生の徒步競走、裁縫競走もあり最後の餘興として美妓七店より一人づゝ選出する美人投票があ[illegible]ふことであるが斯種の會合に得て免れざる醉狂者抔は一人も出ださず立派に所期の目的を遂したらしいのは[illegible]

□長逝せる土倉翁 恬淡寡慾豪膽にして氣骨に富める人

夕刊所載の大阪特電に報じありたる土倉庄三郎氏逝去の報につき、世間未だ同氏の性行及び功績を知らざるもの多きを以て茲に報ずべし

故土倉庄三郎氏は、父祖の代より大和國吉野の豪族であるが、世々林業を以て業とし、近畿に響き渡りたる富豪である

▲殊に氏は極めて氣骨ある實業家であつて、往年板垣伯が洋行する時は、此の土倉翁が全部の費用を支出し、又た故新島襄氏が京都に同志社を起すと聞けば、直ちに數千金を同志社の創立費に投ずる抔金錢を見ること土芥の如き隱れたる偉人であつた。其他公共事業に私財を投じたること數限りなく、爲に

▲附近第一の豪富を有してゐたる家なるにも拘らず庄三郎翁の時代になつて大分身上を減らしたが、それでも猶ほ現在多額納稅議員であつた長男鶴松氏(五〇)は目下盛んに支那、臺灣に活動して辣腕を揮ひ、次男龍次郎氏(四八)四男四郎氏(二〇)も小壯有爲の實業家として知られてゐる

▲而して更に長女登美子(四九)は原六郎氏の夫人となり、次女浦佐子(四七)は子爵內田康哉氏の夫人となり更に四女小伊登子(四二)は元の同志社長病院長にして現奉天病院長佐伯理一郎氏の許に嫁してゐる土倉翁行年七十有八、今や溘焉として長逝せるは惜むべきことなり

○聯絡貨物注意

東淸鐵道にては日滿聯絡貨物を露國に轉送する場合の臨時規則を制定し哈爾賓に於て之れが取扱を爲し來りたるが同驛に於ける停滯貨物を保管することと困難となりたれば同驛に現存せる滯貨及び今後到著する貨物は荷主に於て必らず十日以內に一旦之を引取ることを要す、若し右期間內に搬出せざる時は歐露へ向け再託送の權利を喪失することになりたれば關係者は宜しく注意すべしと

○米豆檢査に就て

會議所答申要領

總督府より京城商業會議所に對し米穀檢査法改正の件及び大豆檢査規則制定の件に關して諮問ありたるが十九日付を以て同會議所より答申せし要領左の如し

(一)白米中白米又は鮮白米に付き檢査施行の要否

(答)白米は檢査を要せず、中白米又は鮮白米は檢査するを可とす、但し不合格米と雖も他道に輸出を許されんことを希望す

(其の理由) 朝鮮で白米といふものは內地人の食べるものと朝鮮人の食べるものゝ二種に分れてゐる普通內地人の食用に供するものを精米又は精白米と稱し朝鮮人の食べる米を白米又は鮮白米(韓白米)と云つてゐるそれで何故精米に檢査が要らないかといふに、精米は精米所で機械でつて搗き上げて且つ機械の力及び指先きで粉米や小石や稗抔その他の夾雜物を取除けてあるので若し乾燥の不足な玄米であつたら既に機械へ掛けるときに粉々に碎けるから惡質の米は何うしても精米にならぬ譯だからそれ故精米であつたら檢査を要せずとも宜しいといふ事になる、之に反して朝鮮人常食用の鮮白米に至つては石とか粉米とか乃至其他の夾雜物を取除けず鮮人は習慣で米を磨ぐ時器用に色々の夾雜物を取除ける熟練があるから自然鮮白米には夾雜物がある譯である、故に鮮人用の米に對しては檢査を要するといふ必要がコゝに起つて來る次第である。併し此の中白米を檢査することは標準の一定してゐない關係上執行に困難を感ずるであらうから寧ろ玄米の改良を獎勵して次第に惡い習慣を打破し廢滅したいと云ふに在る、若し斯くの如くして檢査を嚴格にすると自然不合格米も出來樣から不合格米を他道へ移出する事が出來ないとすれば由々しき大事で、經濟上の影響を受ける事が多大であらうとの見込から不合格米でも他道に送り得る樣になる事を希望するといふに在るのである

(二)米穀檢査は從來の檢査事項の外更に品質の良否に付き檢査し階級其他につき左の通り定むるの適否(條項省略)

(答)階級を特等、一等、二等、三等、不合格米の四級に定むるを可と認む[illegible]

(三)大豆檢査は品質乾燥異品種及び夾雜物の混入容量並びに包裝につき之を行はんとす其適否如何

(答)檢査を行はるゝを可とす、但し不合格品と雖も、鮮移出を差支へなからしめんことを望む

(其の理由)[illegible]大豆とか綠豆が[illegible]他地方の產物其他に對する[illegible]一般の檢査を行ふ必要がある、然し又不合格の大豆を移出する事が出來ないとあつては、檢査を嚴格に行ふことは至難であるから他地方への移出を差支へない樣にして貰ひたい

(四)四斗叺と五斗叺の可否

(答)五斗叺を用ゆるを可とす

(其の理由) 朝鮮の叺では俵といふものが出來ない、之は何うしても叺に造らなければならない。故に朝鮮で穀物の包裝用に使ふとすれば勢ひ叺に據らなければならぬ。然るに現在の叺製造器械は凡て五斗叺を造るものゝみであるから、之を改造するが如きは以ての外の不經濟である、殊に叺の四隅の耳は五斗叺でも四斗叺でも同じとすれば、五斗叺を此の叺の耳の嵩張り工合は五斗で積んだ方が四斗叺で積むよりも多くの米が積める譯になる

□私の任地は棉花が自慢 早く此大利源を開拓して世界の棉花國に

佐藤全南第一部長談

『佐々木慶南第一部長の談話を新聞紙上で拜見しましたが、仰せの通り慶尙南道は全鮮一の所謂る海の幸に富んだ道でありますが、それと共に私の任に就てゐる全羅南道には棉といふ大產物があつて、而かも其の產額は全鮮第一であります』と前提して佐藤全南第一部長は斯う語る

▲全南の特產物『陸地棉』作付反別は併合前まで、漸つと千町歩內外で他は在來棉即ち朝鮮固有の棉花許り彼是れ二萬町歩もあつたが、併合後米國種陸棉の作付けは著しく增加して目下四萬町歩此の價格一年四五百萬圓乃至五六百萬圓に達してゐる。何?……海で棉が出來ないのに陸棉といふ可笑く聞ゆるッて、此の間も誰かゝら斤んな事を聞いたが成る程海で採れたら海棉即ちスポンジだが陸棉といふのは慣用の固有名詞で亞米利加の

▲海岸に沿ふた島に出來る

から陸地棉といふのだが、適當の名でない事は認めてゐる。何しろ此大利源に對して當然起るべき問題は棉花に對する加工の事であるが、是は夙に野田卯太郎氏や三井の山本條太郎氏抔を中心とせる一派の人々が主唱して紡績會社を起す事になつた時、恰度亦た細瀨軍之佐氏を中堅とせる所謂臺灣組の資本家が發起して殆ど競願の姿であつたが

▲結局合併したらしいとの事である。何れにしても此の大利源を開拓して一日も早く世界の棉花國となりたいものである。さて本年の棉作は五六月中旱魃の爲めに昨年より時季が五六日後れたが、今日では雨も潤澤であるから、まアノ\順調といつて宜しからう、米は植付け以來是も順調である。又た米價の騰貴につれて困つたことは、毎年の例だが此の先き端境季に麥の收穫が無くなつて來ると、下層民は食ふ物に不自由するから之には他道と等しく馬鈴薯や甘藷を栽植させて其の缺を補ふ樣な事にしたそれから本年は

▲森林組合を設けて、差當り光州、長城、羅州、咸平の四郡に植樹の獎勵を行つて見たが、成績は可成り好い樣である。種類は櫟、松、ポプラ、アカシヤ抔の類で各面に苗圃を一反なり二反なり設けさせて地方費から七八百圓支出し、是等は種苗代だの監督者の手當等に充當してゐる、養蠶は併合前道全體を通じてフワノ\の朝鮮在來の繭で而かも一年百石位が高々であつたが今日では三千四百石を產し多く共同販賣の方法で賣らせてゐるが其の內地物の需要を除き本年一萬二千石此の

▲價格約八萬圓に達したのは大に有望と云はなければならぬ。漁業は本年鰤も青山島邊りで可成り捕れた、目下石首魚漁が終つて、是れから鯤だの、夏季の鯛漁だの續いて鰤漁に移るのであるが、まづ昨年と大差なく、獨り陸の幸のみならず、海の幸も豐富である。

○京畿夏蠶狀況

京畿道管內に於ける夏蠶狀況を聞くに七月四、五日より十日迄に全部の掃立を終了せしが其後の發育頗る佳良なりと

○晉州組合議員當選

晉州學校組合會議員選擧は二十一日執行左の諸氏當選せり(晉州特電)

山本喜重▲河井粂太郎▲松浦利三郎▲原田定造▲上村重次郎▲上原三四郎▲山川淺平▲杉亨▲河村力彌▲橋本義正

□咸北農作物被害

本年は稀有の旱魃にて咸鏡北道管內は農作物發芽良好ならず又發芽せしと雖も降雨なき爲め其の大部分は枯死し加ふるに全般に亘り六月下旬より夜盜虫發生し粟、麥、稗、蜀黍等の被害最も甚だしく殊に粟の如きは莖の一部分を殘したる外殆んど全部喰盡し害虫の被害終熄するも秋期收穫の見込なき所尠からず農民は一時大に憂慮しつゝありしが七月十一日來降雨の爲め昨今終熄に近づきつゝあり何今後天候順調なるに於ては日ならずして恢復の見込なりと

○師團長巡視日程

第十九師團長立花中將は北鮮駐剳軍各部隊狀況視察並に地理實査の爲め來る二十四日午前九時三十分龍山驛出發の筈なるが巡視の日程左の如し

▲二十四日朝龍山發▲二十六日清津上陸▲二十八日會寧工兵隊觀察▲八月一日、二日羅南步兵隊觀察▲三日步兵第七十五聯隊觀察▲四日清津出帆▲五日羅南司令部▲七日咸興諸部隊觀察▲十五日北青諸部隊觀察▲十八日元山諸部隊觀察▲十九日龍山歸任

○趙長官動靜

黃海道長官趙羲聞氏は入京中なりしが二十日夜下仁せり

○千綿檢事赴任

釜山地方法院より光州地方法院木浦支廳に轉任を命ぜられたる檢事千綿菊作氏は二十日午前十時三十分發列車にて赴任したり

○鏡技師動靜

水原勸業模範場技師鏡保之助氏は農事視察の爲め二十日來邱し大邱農學校を視察し廿二日全州に向け出發せり

○大塚滿鐵顧問

南滿鐵道會社顧問部總務大塚素氏は二十一日朝入京し朝鮮鐵道局顧問狀況を視察の爲め數日間滯在の筈

人事消息

▲田中都吉氏(明治講談社長)二十一日朝退京
▲跡見弘氏(橫濱原商會輸出部員)同上
▲廣田直三郎氏(釜山中學校長)同上

圖南言北語

紐育から加奈太アラスを通つてベーリング海峽を聯絡船で渡つて▲西伯利を通つて露都へ行く鐵道を米國が布設すると云ふ噂が突然世間に傳へられた▲大成金の米國のやる事として之位のことはやるかも知れぬが▲兎に角地球を一週する此の大事業は世界の人々が嘆賞する痛快事だが▲扨て此問題に對して最も多大の覺醒を要すべきは日本國民である▲如何となれば此の計畫が若し實際に行はれたら何うなるか▲即ち期せずして西伯利沿岸北樺太カムチヤツカ及び露領アラスカの沿線は悉く米國の勢力範圍に入る▲して見ると日本の勢力は北は米國の此の偉大なる勢力に壓迫され南は比律賓に至つて全く米國に包圍さるゝ形になつて仕舞ふ▲由來西伯利は酷寒不毛の地として居るけれど其の實各所には大鑛山を有し大曠野を有する非常な利源豐富の地である▲今迄の露國政府は侵略に忙しく此の利源を開拓する事が出來なかつたのみならず▲秘密境として殆んど外國人の入る事をも許さなかつたのであつた▲然るに今後米國が彼の大きな瞻つ玉でドシノ\此の方面の開拓に努むる事となると日本などもへばかり頭を突つ込んで居られない時代が來るだらう▲ルート氏は既に露國に於て鐵道布設權に關する約を成立させたとも傳へらる▲何はともあれルート氏の革職の內には注目すべき澤山のお土產が潜んで居るに相違ない▲流石は最近五十年間に米國外交界に於ける二大名星の一人だ▲支那漫遊中の詩人蒼堂秸城君から無佛社長に一詩を送りて曰く『身踞泰山嶺、遙瞻扶桑日、天皇之所居、光輝照八極』之れは多分泰山に登つた時だろう▲最う一つは例の北京戰亂に遭遇して▲『鶯鸞十萬擁天羲、劍氣摩空星斗寒、一夜風雲吹欲起、長安殺傚奕棋看』

實業之日本

七月十五日第二十三號發行 定價一部金十五錢 一年分一圓八十錢 東京京橋 實業之日本社

□物價暴騰の大勢 藤山雷太
□我工業の危機
□世界の力たらんとする日本 大隈侯爵
□夏旅行の用意 新渡戶博士
□登山案內
▲麓に於ける注意 ▲山道の步み方 ▲谷筋の撰み方 ▲斷崖激流に付注意 ▲露營地の撰定並準備 ▲水を汲うに行く時の心得 ▲道に迷うた時の心得 ▲急病、飢渴の時の心得 山林局長 岡本英太郎
□何處の山に登るべきか 日本山岳會幹事 高野鷹藏
□青年の自覺 森村男爵
□世界的商道 浮田博士
□氣育奬勵論 增田社長

○代理店設置

今般京城に朝鮮總代理店を設置するに付き信用ある代理店主を募集す希望者は履歷書を送らるべし契約に當り二名の確實なる保證人と五百圓の保證金を要す代理店收入一ケ月四百二十圓以上店主收入百五十圓以上

エール・ケンブリッヂ萬年ペン

發賣元 長崎市萬屋町九十一番地 笹田商業部 電話一五九九番 振替福岡八八六九番

大聖日蓮正傳

日蓮宗管長 喜多村日修猊下題
日蓮宗史書編纂會編述

偉なる哉、日蓮大聖人其事蹟。博大なる其事其壯志。深遠に闡明し眞乎に發揮せる者は本書にして、空前の最大なる正傳也。眞に大聖人を知らんと欲する者は必ず讀まざるべからず

菊判六百五十頁天金總上製 卷頭貴重寫眞八頁揷入
七月卅一日限特價 金壹圓九拾五錢 送料十六錢 鮮臺樺支四十錢
▲期限後は正價貳圓卅錢
東京牛込市谷田町 良書刊行會 振替東京七六七四番
▲取次 全國各書店

夏秋蠶種發賣

例年の通り責任を以て發賣致候代金は一切前金の事
著金次第完全なる郵送筒に納め御送付致候途中發生又は其他異變の場合は御取替又は御返金致候御送金は小爲替又は振替京城二二六二番御便利に候
內地製特別蠶種 代價一枚金六十錢 九月末日迄每日出穴
京城府漢江通四番地 東蠶社種苗部 電話龍山六四一番(電略ト) 振替口座京城二二六二番

[illegible]從武官より左記優等生に恩賜品を傳達せり（東京特電）
銀時計　陸軍砲兵大尉　大江嘯雄

[illegible]日朝上海より門司に入港の春日丸にて歸朝せり（門司特電）

仁川 ▲商興海水浴場[illegible]

鳥致院 ▲會社創立認可　昨年三月頃より出願中なりし現鳥致院丸千運送店を擴張したる倉庫運[illegible]會社資本金は一萬圓にして其の發起人は福永永太郎、辻川喜助、山北貞助、井手貞三、中井又吉氏等外數名等なりと

長春 鮮人親睦會

我が長春に在る朝鮮人は其後漸次[illegible]で[illegible]り愈々十五日の日曜日の午前十一時から西公園の廣場水稻試作場の上手の老樹茂れる高地を會場に宛て卓子[illegible]理店七軒の妓生連四十餘名を合せて殆んど百名、宴の開かれたのは正午十二時頃で例の朝鮮一流の歌舞音曲[illegible]の投票があり大正館の春雲と云ふが其の榮を負て喝采を博し各自歡談裡に五時頃散會したと云[illegible]

世に隱れた不思議の村
恐しい呪ひの術
支那の山間＝苗族の末裔　妙齡の處女＝滿願の日

日本にも昔から人を呪ふいろ／＼の法術が傳へられてゐるが支那の奧地を十三年間行商して此の程歸つて來た一旅客は支那の奧地で行はれる恐るべき女の呪咀といふものに就いて斯んな事を語つた

支那政府の統治外とも言ふべき貴州の西北四十支里計り離れた山間に七十戸許りの一部落がある そこには昔の苗族の末裔ばかりが一塊となつて世に隱れて棲まつてゐる、而して全く外部との交渉を斷つて特殊の

▽小社會を 形成してゐる該の村落であるが、此の部落には世にも恐ろしい怪醋な執拗な女の呪ひの術が七百年といふ長い歷史附きの下に行ぜられてゐる、私は最初其の部落で妙齡の處女でありながら左手に指の一本もない哀れの娘を一人見たが、酷い怪我をしたものだと思つてゐる内に又同樣の者を見たので不思議に思ひ村の者に就いて其の仔細を訊いて見ると、夫れは怪我でも何でもなく我と吾が身を生きながらに切り取つたのだといふ 而して其の由緒と方法とを聞くに、此の部落では娘が一度男の爲めに節操を弄ばれて末長く添はるれば當然なのだが

◇萬一見離されて放逐されるやうな悲慘な境遇になれば其の女は茲に親兄弟の許を得て世捨人となり一室に閉ぢ籠つて決して世間に顏出しをせない、

而して苗族の祖神たる『パラ』といふ淫祠を自分の室に祀るのである。其際娘の母は青色土燒きの小壺と刄になつた小刀と紫檀の小形な俎板と黃色の雁皮紙六十一枚とを神前に供へ娘をして一歩も室外に出さず一日に雞卵二個と粟飯三碗とを與へるのみで娘は

▽曉明の五時 から翌午前二時まで[illegible]

◇次は無名指に中指にと移つて前後六十一晝夜目を滿願日として左の手の指全部を剜み取る。而して小壺の中に蓄へた灰は燼を神前から撤し愈最終の日には顏色憔悴した娘が仙人の掌のやうになつた左の手を繃帶もせず右の手に件の小壺を持つて室から顯はれ五指を燃やした灰の入つて居る小壺は其の日親兄弟立會ひの上で娘の右手から部落下の小川に投げ込まれるのである、然うして

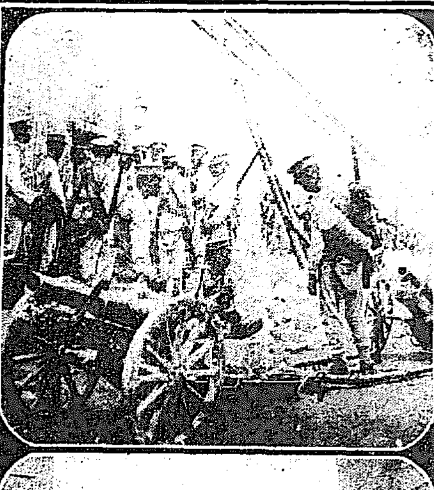
▽六十一晝夜 ＝五本の指が犠牲にして呪はれた男は滿願と同時に絶命するか三日目の黎明には悶死を遂げるものであるか[illegible]殺されてゐる、偶男の一族に悉く天刑病の者が出來て[illegible]を受けるのだといふことである、恐うして呪ひの荒行を遂げた娘は部落の老若男女から非大の尊敬を受け、途上で邂逅した際に何れも土下座をなして伏拜するのである。併かし其の娘は其の後如何なる事情があつても終生男に觸れることは不可能の事になつてゐる、併かし此の怨ある呪咀を遂行して果敢ない獨身生活を營んで居る娘が其の部落に現在十二名あるには一寸驚いた

西鮮豪雨被害

先頃の豪雨被害に就き警務總監部に達したる報告に依れば平安南道にては十六日より雨歇み各河川何れも減水して杜絶中なりし交通復舊し新安州价川間の輕鐵は十九日より復舊開通せり▲平北にては清川江増水の爲め博川郡南面南松洞の部落全部廿七戸浸水して鮮人一名溺死したり尚泥中里博川間の泥浦橋は洪水の爲め遂に流失するに至り之れが防禦工事の際橋上にて從事中なりし鮮人四名は橋と共に洗ひ流され木片に縋りつきて漂流中大寧江口にて救助され四名共辛くも一命を取り止む又博川郡佳東面英頭洞にても一部落三十六戸浸水せしが人畜に死傷なかりしと

宿屋を荒した勳七等の曲者

岡山縣兒島郡興除村生れ京城明治町一丁目古物商在鄕軍人勳七等三村福次（四三）は本年四月初め黃金町二丁目後藤嘉吉郎よりトンビ一枚（二十八圓）を借受け直に本町四丁目福田質屋に十圓に入質して費消し四月二十五日より外一名と共に龍山榮町下宿屋島阪とめ方に滯在し宿料五十二圓餘り嵩みたる際無斷逃亡して黃海道海州に行き同所本町の宿屋佐々木市次郎方に泊り込み宿料七十七圓餘に達したる際金策すべしと欺きて同家の自轉車一臺（七十圓）を借受けて沙里院に赴き宮本旅館に泊りて宿料六圓餘りの抵當に件の自轉車を流用し其儘京城に舞ひ戾り情婦なる山口縣阿武郡田萬崎村生れの大津さと（二）を兼二浦の料理屋中西ふさ方に前借金百五十圓にて樓込せ相變らず漂浪中を告訴せられ爾次は此程本町警察署に引致取調の上檢事局に送らる



◆張軍の本陣を陷れし蕭中將　段總統日本公使館に遁れてより總統府護衛隊長蕭安國中將は一時南苑に身を寄せつゝありしが段祺瑞氏の討逆軍を組織して北京の大市街戰に及ぶや自ら舊總統府護衛隊を從へ東安門附近（張勳邸の前面）に到り張勳將軍の本營に肉迫し遂に之れを陷落せしむるに至れり寫眞上の左は南河沿に肉迫せる護衛隊にして下は東安門を占領し張勳邸に突撃せんとする同軍人物は張勳本營を落し實に占領し一寸一服を吸ひたる勇將の蕭安國中將なり（北京）

◇暑中休暇始めの――（廿一日龍山にて）

學生の夏休と家庭
擊劍と柔道と水泳の練習
◇元山へ行つて臨海示教を爲す考へであつたが赤痢が流行してゐるので中止◇
＝京城中學校長　柴崎鐵吉氏談＝

本月三十一日迄毎日校內の道場で擊劍柔道の夏稽古があるそれが濟むと八月一日を休んで二日から十九日まで西氷庫の

▽漢江で水泳 の練習をする事に成つて居る今年は水產課の岡村氏が師範を爲てくれる事に成つたので大變に仕合である岡村氏は日本屈指の水泳家で國際オリシピックで何時も月桂冠を獲て居る最初の計畫は元山の海岸に於て水練及び潮流水產等海に關する一切の臨海示教を爲る考へで居つたが生憎く元山に赤痢が流行して居るので遺憾ながら元山に行く事が能きない

▽仁川の海は 衛生上面白くなし海雲臺の海ならば水は淸し遠淺であるし元山と違つて要塞地帶でないから自由に朝夕寫生も能きて此の上もない好都合であるが金が多く掛るから生徒を連れて行き兼ねる其處で折角の臨海示教を中止して前年通り西氷庫の漢江で水練を行ふ事になつた

▽地方から來 て居る生徒は大抵暑中休暇に入ると家庭に歸つた學校の方でも又それを奬めて居る平常親の膝下を離れて居る子供は暑中休暇中位は慈父母の許に歸つて家庭と親しむ方が良い暑中休みは無論休みであるから充分に休むが宜いが折角の良習慣を僅かばかりの間に打ち毀して終ふのは甚だ殘念であるから各自に

▽晝寢夜更し 等の惡習に染まぬやうに要心しなければならぬ宿題は大抵每日二時間位の勉强を要する問題を出して置いた水泳の教練も濟んだ後は每五の日を以て生徒を召集し宿題の答案を徵し精神上の訓話を爲る事に成つて居る

獨探 膏藥中に黴菌を仕込む

獨探米國にて膏藥中に黴菌を仕込み散布したる事發覺し犯人は官憲の手に逮捕されたり（桑港電報）

濁流中に投身

京畿道驪州郡占東面玄水里農柳昌奉（三七）は豫て精神に異狀ありしが先頃豪雨出水の際無斷家出して行衛不明中なりしが兩三日前附近の清渼川に屍體となりて漂着し居るを發見し憲兵出張所にて檢視せしに全く發狂の末激流中に投身自殺せるものと知れ屍體は家人に引渡さる

少女を救ひ上ぐ

京城和泉町林景泉女長富男（二）は十九日午後十一時頃蓬萊町一丁目四十五番地先の井戸にて水を汲まんとして深さ十三尺計りの井戸に陷落し瀕死に陷り居るを驅付けたる和泉町李仁寬（三〇）が引揚げて蘇生せしめたり

酒精から發火

二十日午前八時十分頃京城永樂町二丁目五十三番地染料製造業楢松守方店頭にて石油罐に酒精三升計り入れあるものに引火して俄然燃え揚り大事に及ばんとせるを家人が消止めたるが同家の雇鮮人某が喫煙したる煙草の吸殼が落ち込みて發火したるものならんと

本日午後一時より 日報俳句會 於京山本願寺

俳句の題に就きて　木南雨催の日報俳句會に就き問合せらるゝ向きもあるが兼題の句は御持參無きも差支へ無く又席題の『蟬』の句も十句に滿たざるも差支へ無し（碧水）

絞染講習會

愛國婦人會京城婦人會有志婦人の發起にて日本家庭染普及會講師岩谷綿子女史を招聘し來る二十五日より六日間毎日午前八時半より十二時迄京城婦人會事務所にて絞り染各種同染法講習會を催すことゝなりたるが講習希望の向は愛國婦人會事務所又は金谷、山田、久米、佐々木、峰尾、住永の各夫人迄至急申込むべく會費金十圓なりと

えんげい

▣有樂館の連鎖劇　二十二日より新派劇と差替へ新派悲劇雨夜の鐘は[illegible]にて連鎖劇を演ずる由なるが番組は左の如し▲滑稽百坊海濱の巻▲滑稽愛兒▲滑稽[illegible]ノツポの手柄▲滑稽正劇アリス嬢▲喜劇[illegible]坂銀吉の由來▲新派連鎖劇雨夜の鐘
▣大正館　涼み興行のチヤツプリン大會は引續き好人氣なり

○電信修技生募集

當局電信修技生十五名ヲ朝鮮人ヨリ募集ス詳細ノ事項ハ七月二十一日以降ノ官報又ハ當局從事員教習所ニ就キ承合スヘシ但シ郵便照會ハ返信料二錢切手ヲ添附ヲ要ス
大正六年七月二十日
朝鮮總督府鐵道局

專賣特許出願中
光澤壁塗料

右壁料を以て朝鮮銀行內部塗替致候御序での節御一覽を乞ふ
製造發賣　京城黃金町漢江通十三番地（小學校前）　浦田商會　電話四四六番
京城旭町二丁目五十一番地　佐藤熊太郎　電話四七九番
取次所　京城長谷川町八十四番地　浦新工業社代理部　電話二四六七番
取次所　京城本町三丁目卅八番地　黑宮精逸　電話三二二番

◎電氣療法教授

電氣療法及哲理療法院內及通信教授　男女最適職業二ケ月卒業　無試驗開業寄宿舍規則書六錢送れ
東京神田區北乘物町一番地　花王醫院

賣却品（鐵工業現狀の儘）

一溶鑛爐　徑四尺高十五尺　外各種
一スチームエンジン　十馬力一臺
一吸入瓦斯發動機　八馬力外
一旋盤　七、八、十尺各
一十噸横置起重機　一臺
一レカルバン　五尺外
一ボールバン　各種
一煙突　徑一尺高二十尺　一個
一工場建坪　約二百坪
其他鉛工鑛工附屬品及諸雜品共總金額約壹萬圓內外
右御入用の方にて現品一覽希望者は七月廿四日迄に左記の所へ御來談を乞ふ
仁川港濱町　春陽館內　橘　實

醇良清酒
仁川本町四丁目　吉金酒店　電話七六四番

東洋一の魁
新形流行　內田式ストロング靴は堅牢優美、價格一割久保證す
御旅行用　靴と鞄
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角　內田靴鞄製造問屋　電話芝一五五一、振替一八七一七

内科 小兒科 中島醫院
京城府明治町二丁目（本町通り[illegible]より入る）電話三七八番
入院隨意
院主　中島貞信

登錄商標
くだりはらの氣持よく止まる
健胃固腸丸
食傷　寢冷　時候あたりから起る下痢と腹痛に第一等藥
藥價　十錢　二十錢　五十錢　一円　三円　五円
本舖　大阪　谷田春堂
到る處の藥店に販賣せらる

移轉開業廣告

謹啓炎暑の候各位益々御清榮の段奉賀候陳ば弊店儀類燒の爲め久敷休業罷在候處今回左記の所に移轉愈々廿二日土用丑の日を期し開業仕候間舊に倍し御引立の程伏して願上候
京城南大門通一丁目（朝鮮商業銀行）隣
天ぷら　鰻　生そば　料理　仕出し
天金　電話五九八番

蛋白 澱粉 脂肪 消化劑 プロテアーゼ

本品は東京帝國農科大學 三宅理學博士 の最新發見に係る一種のエンチームにして蛋白質に對し最も强度の消化力を有す……從來本邦に於ける消化劑は主として澱粉質にのみ有効にして蛋白質には未だ理想的のものなく實に本品を以て第一となす……加ふるに本品は澱粉質に對しても其消化力諸種のヂヤスターゼに優り尙脂肪分解作用をも兼有す、之れ本品が他のあらゆる消化劑に比して超越せる所以＝內務省東京衛生試驗所の報告も亦之を證明せる眞に世界的の大發見なり
粉末と錠劑の二種あり
胃腸障害の爲に常にヂヤスターゼ其他の消化劑を服用せられつゝある人は速に本劑を試み其の偉効を知れ
定價　粉末[illegible]　錠劑[illegible]
東京京橋南傳馬町二丁目　星製藥株式會社　電話京橋一七八五　振替東京二〇五三
▲各地藥店及特約店にあり

花籠（六三）

松田竹の島人作

嘉七が最初は、書きかけの原稿を左程重要なものと氣付かなかつたから、早見は外へ移轉す時、嘉七に知れないやうに、そつと懐にでも入れて往くならば、それまでゝ、嘉七は氣が付かずに居たであらう、敵を受ッついて蛇を出すこといふ俚諺があるが、早見が原稿を持つて往くことゝ斷つたのは、丁度此俚諺の通りであつた、併し早見は、嘉七の眼を晦ましてそッと原稿を持つて往くやうな、陋劣手段を行ふ程、性質が悪るくなく、頗る正直で、何事も公明正大にせなければ濟まぬ氣質であつたから、

嘉七の承諾を覓めたのであつた。

早見は頼むといふ弱味があるから先きに怫然として、皮肉なことを言つて、田淵に向つた時のやうな元氣はなく、死も心配らしく、嘉七の顔色を窺ひながら、

「這麼書いたものなんか措いて往つても、何んにもならないぢやありませんか。」

「何んにもならないものなら、措いといても可さゝうなもんですね。」と嘉七は捏ねたことを言ふ。

「併し僕にはなくてならん必要なものですが、御主人には何んの要もないぢやありませんか。」

「私が、貴方の道具を措いて往つて貰ひますのは、部屋代の代りですから、其書いたものも措いて往つて貰へば、貴方が大切なものだけに、それが欲しいから、間違ひなく部屋代を持つて、取りに御出でなさるだらうッだから尚且私にも必要なものでせう。」と嘉七は、三百代言のやうな理屈をいふ。

早見は温順やかに

「ですけれど、僕に早く部屋代を拂はせやうと思はないたらば、此書いたものを書店に賣るのですから、渡された方が可いですよ。御主人の手にあつたところで、一錢の金にもなりませんからね。」

「早見ならんこともありますまい、屑屋へ賣つたら一錢や二錢にはなるでせう、兎に角渡すことは能きません。」

心血を注いで書いた貴重な原稿の一部の原稿を、屑屋へ賣つたら、一錢か二錢に為るだらうとは、酷いことを言ふと、早見は恨めしく思つた。

「そりや餘り酷ぢやありませんか、其麼ことを言はないで、持つて往くことを切望許して下さい。御願み為ますから。」

「酷だつて何んだッて、構つたもんぢやない。元來約束通りに、部屋代を拂はないのが、貴方が悪るいのだから。貴方は田淵さん見たやうな立派な御友達を持つてゐながら、出世が能きないといふのは、强情だからですよ。何んでも立派な人に縋つて出世するのが當世ですよ。それを貴方が為ないから、大學校を卒業してゐながら、部屋代も拂へないやうな貧乏を為るのですよ。」

「其麼ことは、御主人の口から聞くには及びません。僕が貧乏しやうが富裕に為らうが、勝手ですから。」

「そら其麼に、貴方が憎まれ口を利くから不可ない。」

「何時までも同じことを言ツたッて仕方がありませんが、それとも此書いたものを持つて往くことは不可ないのですね。」

「不可ませんとも。」

嘉七は、逆も肯き入れる氣振がなかつた。

早見は困り切つて、腕を拱き、溜息を吐いた。

「ところで早見さん、道具を措いといて貰うとしても、今月の三十日迄に、金を持つて來て下さらなければ、仕方がありませんから、道具は皆賣つて了ひますから其積りで、尤も賣つたところが、幾らにも為るまいが、兎に角さう諦めるより外はありませんよ。」

嘉七は宛も措なしく言ふ。

印章ゴム　版木彫刻　名刺印刷　京城本町一丁目　千代田號　電話九八七番

□蕭舫の一日（二）

平壤河水町銀川俳句會稿

冷　奴

簾を透くポプラの月や冷奴　芸窓

冷奴あるのみの水甘き宿　芳宙

蝙　蝠

蚊喰鳥追ふ寺守宵の星淡し　鴨原

蝙蝠飛ぶ里の夕べは淋し　龍泉

北邨に煙斷れけり蚊喰鳥　廣陵

夕闇に絶ゑ飛ぶなり蚊喰鳥　芸窓

蝙蝠の江上を飛ぶ夕べかな　小嵐子

蝙蝠酒の香すハンカチーフ　同

ヨボの酒ぐ櫓背商し蚊喰鳥　六轉

蝙蝠や澱の中なる大同門　孤鶴

蝙蝠に竿弄ぶ兒は皆去りし　芳宙

蟬

蟬鳴いて貧菴ヒツソリの家哉　鴨原

五樹伐て蝉聲遠くなりに兒　六轉

玄關に蝉鳴く松の小寺かな　孤鶴

磨庭に蝉の涼ふ留守居しぬ　芳宙

新刊紹介

▲愛知縣商品陳列館報告（六月號）（五錢名古屋愛知縣商品陳列館）

▲蘭菲虎之卷（七月號）（二十錢東京麻布富士見町四三宮の日本社）

▲九惠（六月號）（價不詳東京市養育院）

▲鑛業及び鑛夫（四の一二）（三錢東京府下多摩郡澁谷町四八其社）

▲良民（七月號）（五錢東京麴町平河町五の三六其社）

▲禪機（七月號）（十五錢東京々橋岡崎町一の三三其社）

▲亜則中學講義錄（五學期の二）（會費月五十錢東京神田駿河臺袋町大日本國民中學會）

▲大阪仕入案内（七月號）（十五錢大阪西區阿波座通阿橋南語其社）

▲育兒通信（七月號）（十五錢東京小石川林町五七其社）

▲石油時報（七月號）（十五錢東京麻布龍土町六三其社）

▲園藝世界（三の一）◇葉性バラは如何に栽培すべき乎、朝顔の種子蒔付、插木法の秘訣、ダリアの植上及貯生法、芳香床しき草花等（十五錢橫濱市青木町一九五三家庭園藝會）

▲朝鮮農會（七月號）◇蠶桑の品種改良に就て、慶北に於る鶏コレラ、浮塵子注油驅除に關する調査其他依然見るべきもの多し（二十錢京城鐘路本原部日補面高等里其會）

▲黒白（七月號）（十錢東京々橋築地三の一五其社）

名刺　京城　太平堂　電話二七二二番　振京二三六七番

◇博物館の脫靴問題に就て＝小田事務官談

博物館脱靴の事に關し小田事務官は語りて曰く總督府の博物館では本館と修政殿とに限り建物の構造の關係から已むを得ず上草履「カバー」「スリッパ」等を用ひて貰うことにして居りますが

○脱靴を求めるといふこと○

○にはなつて居りませぬ○

勿論西洋人と東洋人との間に區別を立てるといふことはないのです私は上草履「カバー」なども面倒ですから廢したいと考へて居り又觀覽料も取らぬことにしたいと思ひますが無料では餘りに出入が自由に過ぎて[illegible]る弊害もあり[illegible]にも觀覽人の方にもよくないので一層らく不本意ながら面倒を忍んで一費うことにして居るやうな次第です、それで入口には上草履を用ひて下さいといふ意を日鮮英三様に書いて札を立てゝ居りますが之を撤去する時期の早いことを私も望んで居るのです

牛るり　京城旭町一丁目　ふり治商店

年期刺繡弟子十五名募集

しても不都合なことがあつた時には手數でも事務所へ知らせて貰ひたいと思ひます

讀者の領分

▲斷髮檢査と稱する職工然たる輩が跳躍不遜の態度で室内に入り檢査をするは實に惡るし一般を不良の家と思ふにや少しく教育ある人を派出して檢査するが穩當ならん（天眼生）▲水道斷水ならざるに起因す若し京城水道係の如きは無定見なる當該官吏の計畫宜しからざるを戰爭に用ふれば必ずや兵は全滅するならん（同上）▲近來炎暑の爲め市内にポツ〳〵赤痢病が發生して來ましたから宜敷個人の衞生が緊要です吾々が日常食すべき野菜即ち鮮人や支那人の野菜行商は極めて危險です現に昨日ある處に於て下水や汚水などで洗滌したり又は日光に晒されて腐りたる物に右の汚水をかけ居るのを見ました實に危險千萬彼等は素より衞生思想などは更になく官憲に於ても其れ〳〵相當の注意を拂はれつゝあれど私は實見したる者故流行病の豫防策として彼等行商の野菜を絶對に買はざる方危險なかるべしと考ふ（赤痢豫防生）

京日案内

◎免許土用やいとハリ一回三十錢　狩野　本町一ノ三（船屋横入）電一三二六　300

◎京城旭町二いそ下土用土用卯土用うみたて鶏卵あり　電話二二三一へ乙中ム　316

◎石膏像新形種々入荷東京製御小賣京城本町電（五元振二ッキャ　222

◎看護婦至急募集派出多忙有免狀者本人來談乙ユ電話一四四一番南山町一ノ一た中央看護婦會　304

▲金融　月收の方に確實迅速融通御相談は御來談　京城花園町八七　大和質店　302

◎外　支那翡翠玉石美術品陳列販賣　本町二丁目　七十三番地　玉興福商店　313

被雇度　機械運轉工及び電氣汽罐、其他汽鑵、雑役並に石油發動機等何にても相談に應じ候　京城本町二ノ一　大友勝次郎　311

店員入用　十八歳以上十五歳迄中學卒業者にて電話事務に心得有る者二名希望者は履歴書携帶本人來談　吉野町一ノ九　中島竹次郎　307

京城本町二丁目　東局側　電話七四一番　312

◎鑛物定量分拆　田部分拆所　本町二丁目（電話二七七一番）　314

◎しぼりはらには健胃整腸散に限る　京城明治町一　小川温知堂の　318

◎年金一步　長期　江州屋本店　京城永樂町　166

◎はねつぎ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　206

京城春川間自働車　貸切一金四圓　京城發前八時　京城水標橋通り　電話二一三八番　春川發前八時　春川自働車商會　松田壽男　263

椅子卓子陳列戸棚書棚製造並に修繕　新古　黄金町二丁目　電話二四二一　金庫大釜洋樂器　室商店　264

最新刊

書名	著者	定價
印度及印度人	宮野英之助	一、五〇
支那語自習完璧	東亞遼社	一、四〇
海外交通史話	辻善之助	二、九〇
禪學質疑解答	原田祖岳	一、一〇
定石くづし	胡桃正見	八〇
此の一手	高橋杉數	六〇
三坪花園	今村猛雄	五五
道	小酒虚子	八五
光源氏の一生	高須梅溪	六五
祇園双紙	吉井勇	六五
青葉若葉	近松秋江	五五
蟠隨院長兵衞	碧瑠璃園	一、三〇
獨歩書翰	獨歩	五五
涙香集	黒岩涙香	一、二〇
山嶽旅行秘訣	紫陽道人	六五
化粧の巻	水島幸子	一、〇〇
一橋挿話	滝村和代三	七〇
日本青年鑑	巽理章三郎	一、三〇

京城本町一　電話六〇六・振替京城二五七三番　大阪屋號書店

商況

十四日正米特電

大阪三品特電

保合强硬

老婆を銜き倒す

旅の日ヤケを防ぎ　色白くなる

自然と皮膚のキメを細くして

旅行の注意

山紫水明の旅も、電車に乘つて小一時間、親しき知人を訪ふ半日の旅も、夏は油斷がなりません。汗の害、日ヤケの憂ひ、蚊や蟲などに皮膚を傷めぬ要心に手提袋の中にでも、一瓶必ずお持ちなさる様お勸め致します

山へ！

海へ！

ホーカー液を近い旅にも必ずお忘れなくお持参下さい

東京で一番よく賣れる家庭化粧料

白味化粧液の元祖

ホーカー液

◎注意＝汗をそのまゝにして置くと美人となれません

▲汗の出る穴　は人間の皮膚の一坪四方に平均三百もあるのですから、皮膚全體に湧き出る汗はそれは大變なものでムいます。その汗をただ拭きさへすれば好いなどと簡單に考へてゐるのは、大へんな間違ひでムいます

▲顔の汗をどう　するかと申しますとこれは夏のお化粧で一番大切な事です。汗をその儘に放つて置くと、汗が酸化して皮膚を刺戟して、肌を知らず〳〵の内に傷め秋になつて汗が出なく成つて見ると顔の肌がスツカリ荒れて終ひます。

▲汗の手當て　そこで汗はあまり摩らない様に、よく拭き取つてから、最も清良なる化粧液ホーカー液を一二滴づゝお塗け下さい、急に涼風が起つたやうに、氣も心もサツパリとなつて、汗や皮膚の排泄作用を閉ぢやうとするのをスツカリ除き、いつもイキ〳〵とした自然の皮膚の美しさを保つことが出來ます。

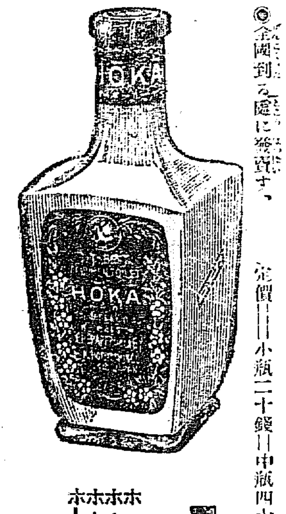
▲僅かな時間　の此の手當ては、御家庭でも外出にも一寸人にお會ひになる前にも旅行にも、電車でお買ひ物にいらつしやる時にも必ずお用ひ下さい。

◎全國到る處に發賣す、

定價＝小瓶二十錢＝中瓶四十錢＝大瓶八十錢（郵稅内地無料鮮二十錢）

■中元暑中の御進物　としてホーカー液中瓶大瓶は一本宛桐箱入にて體裁最も宜し

ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髮液　ホーカースーヰート



東京神田和泉橋　本舗　堀越嘉太郎商店　振替東京一四三、特長一四四、電話神田一一五、一四五六

發行兼編輯人　奥田直誠　印刷人　小川三之介